

孔子学院

CONFUCIUS INSTITUTE

唐宫夜宴：重回大唐盛世繁华
唐宮夜宴：よみがえる大唐の栄華

中日文对照版 漢日对照版 / 2022年第3期 / 总第65期 / 双月刊
国际刊号: ISSN 1674-9693 / 国内刊号: CN11-5963/C

孔子学院

孔子学院

主管：中华人民共和国教育部
主办：中国国际中文教育基金会

主管：中華人民共和國教育部
企画・編集：中國國際中文教育基金會

编辑出版：《孔子学院》编辑部

协 办：上海外国语大学

总 编 辑：赵灵山 李岩松

副总编辑：郁云峰 张 静

主 编：朱亚军 张雪梅

副 主 编：毛小红 钱明丹

编辑：傅 英 卢偲怡

主 审：高 洁

审 校：张丽丽 于 帆 张 磊

編集出版：『孔子学院』編集部

共同編集：上海外国語大学

総編集長：趙靈山 李岩松

副総編集長：郁雲峰 張 静

編 集 長：朱亜軍 張雪梅

副編集長：毛小紅 錢明丹

編 集：傅 英 盧偲怡

主 審：高 潔

審 校：張麗麗 于 帆 張 磊

美术设计：张灵芝 陈绿亮（特约）

排 版：上海景皇文化发展有限公司

印 刷：上海中华商务联合印刷有限公司

国际连续出版号：ISSN1674-9693

国内统一刊号：CN11-5963/C

邮发代号：80-752

デザイン：張靈芝 陳綠亮（特約）

組 版：上海景皇文化發展有限公司

印 刷：上海中華商務連合印刷有限公司

國際標準逐次刊行物番号：ISSN1674-9693

中國國內統一發行番号：CN11-5963/C

郵便登録番号：80 - 752

定 价：RMB 16/JPY 550

编辑部地址：北京市海淀区学院路 15 号

邮政编码：100083

编辑部电话：0086-10-63240631

网 站：www.ci.cn

上海编辑部地址：上海市虹口区大连西路 550 号

电 话：0086-21-35373252

投稿邮箱：ci.journal@ci.cn

刊名题字：欧阳中石

内文题字：寂度山翁

封面供图：杨泽东

定 価：16 元 /550 円

編集部住所：北京市海淀区学院路 15 号

郵便番号：100083

電話番号：0086-10-63240631

ホームページ：www.ci.cn

上海編集部住所：上海市虹口区大連西路 550 号

電話番号：0086-21-35373252

メールアドレス：ci.journal@ci.cn

中国語題字（表紙）：歐陽中石

中国語題字（本文）：寂度山翁

写 真：楊澤東



摄影：魏彬 weibin

目 录

目 录



文化视窗

文化ウィンドウ

- 04 河洛文化: 中华民族文化之根
赵克红
- 12 中国象棋: 经久不衰的策略博弈
张稼硕
- 18 天下功夫出少林
吴涛 赵雪
- 04 河洛文化——中華民族文化のルーツ
- 12 中国将棋: 時を経ても衰えない戦略ゲーム
- 18 天下のカンフー少林より出ず

汉语学习

中国語学習

- 24 浅说汉语词的分类
范晓
- 28 成语故事中的河南名胜
张剑英
- 32 诗歌: 我在六月等你
马金波
- 38 作家刘震云: 从乡土走向银幕
石隐
- 24 中国語の品詞分類について
- 28 中国の四字熟語・典故に登場する河南省の名所について
- 32 詩・6月に会おうね
- 38 作家劉震雲: 田舎町から映画・ドラマの世界へ



当代中国

当代中国

- 42 古都洛阳，一个牡丹盛开的地方
孙成岗
- 48 人工智能与中国人的现代生活
陌上尘
- 52 唐宫夜宴：重回大唐盛世繁华
徐娜 卢明方 李翔
- 62 一骑的中国大冒险（其三）
宫崎一骑
- 42 古都洛陽、牡丹が咲き誇る場所
- 48 人工知能と中国人の現代生活
- 52 唐宮夜宴——よみがえる大唐の栄華
- 62 一騎とミドルキングダム冒険（その3）

孔院链接

孔院リンク

- 70 老当益壮，不移汉语之情
吴振华
- 73 孔子学院异域采风
- 70 矍鑠たる老人、変わらぬ中国語への思い
- 73 孔子学院による異国での活動

摄影：魏彬
魏彬



郑 州

Zhengzhou

前書き：

本号は読者の皆様を「天地之中（天地の中央）」という美しい名称で知られる河南省の鄭州にお連れします。

そこでは鄭州の県レベルの小さな街から国の中心都市への華麗な変化を感じ、著名な言語学者から中国語学習の極意を教わり、「花開時節動京城（花開

导语：

本期将带您走进素有“天地之中”美称的河南郑州。

您将领略到郑州由一个小县城到国家中心城市的华丽蝶变；将受教于著名语言学大家有关汉语学习的精心点拨；将欣赏到“花开时节动京城”的国色天香牡丹；将参与一场唐宫夜宴，重温大唐盛世繁荣……

首先，就让我们从寻觅和感悟博大而精深的华夏文化之根开始吧！

く時節、京城を動かす)」で国色天香という別名を持つ牡丹を楽しみ、ダンス演目「唐宮夜宴」に参加して唐代に極めた繁栄をかみしめるでしょう。では、まず壮大で奥深い華夏文化のルーツをたどり、理解するところから始めましょう！



中华 民族文化之根

河洛文化：

作者：赵克红 赵克红
翻译：马场节子 馬場節子



河洛文化——中華 民族文化のルーツ

河洛文化，是指存在于黄河中游洛河流域、以伊洛盆地为中心的区域性古代文化。它以今天河南省的西部地区为核心，大致包括北纬34°至35°、东经110°至114°之间的地区。由于该地区在中国历史上十三朝古都的历史地位，自夏代开始，河洛文化长期是中国古代历史上久负盛名的京都文化，是5000年华夏文明的源泉与主脉。

河洛文化とは、黄河中流の洛河流域に存在した伊洛盆地を中心とする地域の古代文化を指す。現在の河南省西部地域を中核として、大体において北緯34°～35°、東経110°～114°の地域が含まれる。この地域が中国の歴史上13王朝の古都であったという歴史的地位により、夏朝時代から、河洛文化は長期にわたって中国古代の歴史上長く盛名を博してきた帝都の文化であり、5000年の華夏文明の源であり主脈であった。



河洛地区南为外方山、伏牛山脉，北为黄河，西为秦岭与关中平原，东为豫东大平原，北通幽燕，南达江淮，在古代雄踞于中原，为“天下之中”，即所谓“中国”。河洛文化以其居天下之中的地理优势、“河图洛书”为代表的众多物质文化原创之根源、三代之居帝都之区的正统地位、悠久厚重的历史积淀、博大精深的文化内涵成为中华民族文化的母体和渊藪。

传说中的“三皇”（燧人氏、伏羲氏、神农氏）和“五帝”（黄帝、颛顼、帝喾、尧、舜）都与河洛地区密切相关。譬如，伏羲长期在河洛地区活动，其女溺死于洛水，化为洛神；现在的新郑市为黄帝故里；炎黄二帝母族均生活、活动在平逢山一带（今洛阳新安、澠池、孟津地区）。

“河图洛书”就出自河洛区域。今洛阳市孟津区有一条古老的河流，当地称“图河”，全长约20公里。相传“龙马负图”就发生在图河与黄河交汇处。伏羲依此图而画作八卦，就是后来《周易》一书的来源。“河图洛书”是一种内涵丰富的文化现象，它滋生于洛河流域，衍生出“河洛文化”，遂成中华文明之源头。

儒家学说、道家学说、佛家学说、魏晋玄学和宋明理学这五大学说或学派均与河洛有关，或创始于或首传于洛阳。这些学说或学派对中国社会、中国思想文化、中国历史都产生了深远的影响。譬如，儒家的“制礼作乐”这一伟大工程，就是周公在洛阳完成的。因为周公封于鲁、周公后人治理鲁，鲁国就成为保存西周典籍及法理制度最多、最丰富的国家。佛家学说也首传于洛阳。中国历史上第一次“西天取经”，迎来了中国佛教的两位开山鼻祖，创建了“中国第一古刹”洛阳白马寺，佛教得以在中国广泛传播和弘扬。

中国古代的科学技术，有许多是聪明、智慧的河洛人发明创作的。譬如，夏代的杜康在洛阳发明了酿酒；东汉太史令张衡创制了浑天仪、地动仪；东汉宦官蔡伦发明创制了“蔡侯纸”；魏晋时期的马钧创制了龙骨水车；元代郭守敬在登封县修建了观星台，等等。

河洛文化是树大根深叶茂的“根”文化，有许多文明源头都在这一地区，最早的国家就诞生在这里。由于历史的各种原因，中原人口大量向四方迁徙，甚至到海外。据姓氏专家研究，中国一百个大姓中有七十多个姓的祖根在中原。善于吸收、包融、开放、凝聚的民族个性，在河洛文化中都有充分的体现，最突出的还是“大一统”的民族基因。几千年来，这种民族基因代代相传，生生不息，成为维系国家统一、民族强盛的坚如磐石的精神力量。

河洛地区は南に外方山、伏牛山山脈があり、北に黄河を擁して、西には秦嶺と関中平原、東には豫東大平原が広がっている。北は幽燕に通じ、南は江淮に達する。古代においては中原に悠然と座し、「天下の中（世界の中心）」すなわち「中国」であった。河洛文化はその「天下の中」に座する地理的優位性、「河図洛書」を代表とする多くの物質文化を生んだオリジナリティの根源、三代の王朝の帝都であった正統的な地位、悠久かつ重厚な歴史的蓄積、幅広く奥深い文化的含蓄によって、中華民族文化の母体、淵藪となった。

伝説の中の「三皇」(燧人氏、伏羲氏、神農氏)と「五帝」(黄帝、顓頊、帝嚳、堯、舜)はいずれも河洛地区と密接な関係を有していた。たとえば、伏羲は長期にわたって河洛地区で活動し、彼の娘は洛水で溺死して洛神となった。現在の新鄭市は黄帝の故郷である。炎帝と黄帝の二帝の母方の一族はいずれも平逢山一带(現在の洛陽、新安、澠池、孟津地区)で暮らしていた。

「河図洛書」はまさにこの河洛地域で生まれた。今の洛陽市孟津区には古くから現地で図河と呼ばれる全長約20キロメートルの川が流れている。伝えられるところによれば、「龍馬負図」はこの図河と黄河が合流するところで生まれたということだ。伏羲はこの図をもとに八卦を描いた。これがすなわち後の『周易』のもととなったものである。「河図洛書」は含蓄に富んだ文化的瑞祥現象を図や文字に記したものであり、洛河流域に生まれ、「河洛文化」を導き出し、やがては中華文明の源となったのである。

儒家の学説、道家の学説、仏家の学説、魏晋の玄学そして宋・明の理学の五大学説ないし学派はいずれも河洛と関連があり、洛陽に生まれるか最初に伝わるかしたものである。これらの学説ないし学派は中国の社会、思想文化、歴史にいずれも深遠な影響をもたらした。たとえば、儒家の「制礼作楽」という偉大な事業は、周公が洛陽で成し遂げたものだ。周公は魯に封じられ、周公の子孫が魯を治めたため、魯国は西周の典籍や法理制度を最も多く、最も充実して保存している国となった。仏家の学説も最初に伝わったのは洛陽である。中国の歴史上初めて「天竺から經典を持ち帰り」、中国仏教の二人の開山鼻祖を迎えて、「中国最初の古刹」洛陽白馬寺が創建された。こうして仏教は中国で広く伝えられていくことになったの





河洛文化虽属起源于河洛地区的区域性文化，却是中国古代历史上区域文化中的“核心区域”文化，是中国文化之根。河洛地区先民们创造的河洛文化，是以中原文化为代表的黄河文明的核心，是数千年来中国传统文化的主体和中华文明的摇篮。

说到河洛文化，不得不提及古都洛阳。洛阳是古代丝绸之路的东方起点，隋唐大运河的中心，历史上先后有十三个王朝在这里建都。有二里头遗址、偃师商城遗址、东周王城遗址、汉魏洛阳城遗址、隋唐洛阳城遗址等五大都城遗址。洛阳也是黄河文明和华夏文明的发祥地，素有“九洲腹地”之称。洛阳四周环山，地势险要。北有绵延巍峨的邙岭，南望驰骋千里的伏牛山，东临嵩山，西眺崤山，境内伊河、洛河、瀍河、涧河四河并流，土质肥沃，物产丰饶，周山环绕，雄关林立。洛阳居中央而应四方的独特地理位置，使它成为古代王朝理想的建都之地。夏代为之都，商、周袭之，以至于“昔三代之居皆在河洛之间”（《史记·封禅书》）。中国历代王朝“言必称三代”，这样的封建帝王被视为圣明君主，是后世之为君者的楷模。由此，洛阳为“三代之居”“天下之中”的理念，一直在封建社会延续，且根深蒂固，成为后世诸多王朝定都的主要根由。在中国5000年文明史中，近三分之一的时期，洛阳都是中国政治、经济、文化、交通的中心。其历史地位犹如宋代史学家司马光所说的：“若问古今兴废事，请君只看洛阳城。”千百年来，中华民族自称“炎黄子孙”，以洛阳为中心的河洛地区才是炎黄文化的肇兴之地。

である。

中国古代の科学技術の多くは、聡明で知恵にあふれる河洛地域に住む人びとが発明・創作したものである。たとえば、夏代の杜康は洛陽で醸造酒を発明した。後漢の太史令張衡は渾天儀という天文計器と地動儀という地震計を創り出した。後漢の宦官蔡倫は「蔡侯紙」と呼ばれる紙を発明した。魏晉時代の馬鈞は竜骨水車を創り出した。元代の郭守敬は登封県に天体観測所を建造した、等々。

河洛文化は根を深く張り葉を生い茂らせる大木のごとき「根幹」となる文化であり、多くの文明がいずれもこの地域に源を発している。最も初期の国家はまさにこの地に生まれた。歴史的なさまざまな原因によって、中原の人口が大量に四方に移動した。ひいては海外にまで。姓氏専門家の研究によれば、中国に最も多い100の苗字のうち70以上が中原にルーツを有するという。吸収力に優れ、寛容で、開放的な、結集力に富んだ民族の特性は、いずれも河洛文化の中にじゅうぶんに体现されている。最も際だっているのはやはり「大一統」（一統をたつとぶ）という民族的遺伝子だ。数千年にわたって、こうした民族的遺伝子は、途切れることなく脈々と後世へ伝えられ、国の統一、民族の隆盛を維持する磐石の精神的エネルギーとなっている。

河洛文化は河洛地域から起きたローカルな文化ではあるが、中国古代の歴史における地域文化の中で「中核地域」文化であり、中国文化の「根っこ」である。河洛地域の先人たちが創造した河洛文化は、中原文化を代表とする黄河文明の中核として、数千年にわたる中国の伝統文化の主体であり中華文明の摇篮である。

河洛文化を語るからには、古都洛陽に触れないわけにはいかない。洛陽は古代のシルクロードの東の起点であり、隋唐大運河の中心でもあって、歴史上前後して13の王朝がこの地に都を定めた。二里头遺跡、偃師商城遺跡、東周王城遺跡、漢魏洛陽城遺跡、隋唐洛陽城遺跡の5大都城遺跡がある。洛陽は黄河文明と華夏文明の発祥地でもあり、かねてより「九洲の後背



华夏文明的主体是黄河文明，黄河文明的中心在中原地区，核心在河洛文化圈内。河洛文化最大的特点，就是国都文化连绵不断。黄河文明形成期的五帝邦国时代，黄帝都有熊，颛顼都帝丘，尧都平阳，舜都蒲坂；黄河文明发展期的夏商周王国时代，夏都阳城、阳翟、斟鄩、老丘，商都亳、囂、相、殷，周都丰镐、洛邑；黄河文明兴盛期的帝国时代，西汉至北宋一直建都在西安、洛阳和开封。上述都城均在河洛文化圈内，几千年的建都历史，形成了具有极大影响的国都文化。

走进深邃的历史，凝眸河洛文化，炎黄二帝在广袤丰厚的河洛大地上，用他们的聪明睿智，谱写了华夏灿烂文明的第一乐章，从而使炎黄文化成为中华文化中最具凝聚力的核心部分，炎黄二帝成为华夏子孙的共同祖先。他们身上所体现的自强不息、奋发进取的精神已成为整个中华民族团结向上、蓬勃发展的永久动力。在洛阳皂角树、二里头文化遗址中，发现粟、黍、大豆、小麦、稻等农作物籽实，说明在距今4000年前的夏代已经栽培多种农作物。河洛地区先进的农业，发达的手工业，为中国第一个奴隶制国家政权——夏国的建立，亦为河洛文化的形成提供了扎实的经济基础。

钟灵毓秀的河洛大地，曾养育了中国的伟大先人。璀璨的河洛文化，将永远是中华民族的生命之根！

作者简介：

赵克红，国家一级作家、高级政工师。中国作家协会全委会委员、河南省作协副主席、中国铁路作协副主席、洛阳市文联副主席、洛阳市作协主席，出版诗集《燃烧的情愫》《美丽的忧郁》，散文集《心韵如歌》《倾听桃花》《炊烟，是盛开的花朵》，中短篇小说集《多梦时节》，评论集《岁月留声》等十余部文学专著。

作者介绍：

赵克红，国家一级作家、高级政工师。中国作家协会全国委员会委员、河南省作家协会副主席、中国铁道作家协会副主席、洛阳市文学艺术界联合会副主席、洛阳市作家协会主席。诗集《燃起的想》《美丽的忧伤》、散文集《心韵如歌》《倾听桃花》《炊烟，是盛开的花》、中短篇小说集《多梦时节》、评论集《岁月的声音》等十余部文学专著10数册进行。

地」と呼ばれている(九州とは古代、中国全土を九州に分けたことに由来する中国全域の古称である)。洛陽は、四方を山に囲まれ、地勢が険しく、敵を防ぐのに都合のよい場所である。北には高くそびえる邙嶺が延々と連なり、南には千里を駆けるような伏牛山を望み、東には嵩山、西には崤山がひかえている。域内には伊河、洛河、瀍河、澗河という4つの川が流れ、土壌が肥沃で、物産が豊かである。山に囲まれ、険しく堅固な関所があちこちにある。洛陽は中央に位置し、四方ににらみをきかせることのできるその独特な地理的位置によって、古代王朝が都を定めるのに理想的な地だった。夏代にここが都とされ、商、周もそれを踏襲したから、「昔三代の居皆河洛の間に在り(『史記・封禪書』)」ということになった。中国歴代の王朝は「言必ず三代と称し」、こうした封建帝王は聖主明君とみなされ、後世には君主の鑑とされた。このため、洛陽の「三代の居」「天下の中」の理念は、封建社会でずっと引き継がれ、さらに深く根を下ろして、後世の幾多の王朝が都を定める主な根拠となったのである。中国5000年の文明史の中で、そのおよそ3分の1の時期において、洛陽はずっと中国の政治、経済、文化、交通の中心だった。その歴史的地位は、宋代の歴史学者・司馬光が言ったように、「若し古今の興廃事を問はば、君只洛陽城を見るを請う」である。千年以上の長きにわたって、中華民族は自らを「炎黄の子孫」と称しているが、洛陽を中心とする河洛地域こそが炎黄文化の興った地なのである。

華夏文明の主体は黄河文明だが、黄河文明の中心は中原地域にあり、核心は河洛文化圏の中にある。河洛文化の最大の特徴は、帝都文化が連綿として絶えなかったことである。黄河文明の形成期だった五帝邦国の時代には、黄帝は有熊に、颛顼は帝丘に、堯は平陽に、舜は蒲坂に都を定めた。黄河文明の発展期だった夏・商・周王国時代には、夏は陽城、陽翟、斟鄩、老丘に、商は亳、囂、相、殷に、周は豊鎬、洛邑に都を定めた。黄河文明の隆盛期だった帝国時代には、前漢から北宋に至るまで、都はずっと西安、洛陽、開封にあった。上述の都はいずれも河洛文化圏の中にあり、数千年にわたる帝都建設の歴史が、大きな影響力を有する帝都文化を作り上げたのである。

歴史の深いところに入り込み、河洛文化に眼を凝らせば、炎黄の二帝は広大で豊かな河洛の大地に、その叡知を駆使して、輝ける華夏文明の第一楽章を歌い上げたのだ。そしてそれは炎黄文化を中華文化の中の最も凝集力に富んだ核心部分にさせ、炎黄の二帝は華夏子孫の共通の祖先となったのである。彼らの身に体现されている、たゆまず努力し進取の気性をもって奮い立つ精神は、今やすべての中華民族の団結向上、力強い発展の永遠の原動力となっている。洛陽の皂角樹、二里頭文化遺跡からは、粟、黍、大豆、小麦、稻などの農作物の種子が発見され、今から4000年前の夏の時代にはすでにさまざまな農作物が栽培されていたことを物語っている。河洛地域の先進的な農業、発達した手工業は、中国初の奴隶制国家政権である夏国の成立に、また河洛文化の形成に、しっかりした経済的基礎を提供したのである。

美しい自然環境が優れた人物を生み出すといわれるとおり、河洛大地は、われわれの偉大な先人たちを育てた。きらめき輝く河洛文化は、永遠に中華民族の生命の根源であり続けるであろう！

中国象棋：

经久不衰的策略博弈

中国将棋：時を経ても衰えない戦略ゲーム

英文原作：张稼硕 張稼碩

中文翻译：杨其帆 楊其帆

日语翻译：山建国 山建国



A photograph showing a group of people, mostly men, gathered around a table on a street in China. They are playing a board game, likely Go or Chess. The man in the foreground is wearing a brown jacket with a fur collar and is looking down at the board. Other people are standing around him, some looking on and others playing. The background shows a city street with trees and buildings.

这是中国随处可见的一幕。无论是安静的小巷，热闹的公园，或是大门敞开的私人庭院，无论是桌上、长凳上甚至是地上，你都能看见有人在兴致勃勃地玩一种棋盘游戏。两位玩家身边通常还围着一圈看客。他们不仅会热心地建议和评论，还会就玩家的每一步棋展开辩论。

这时候，你完全可以打包票说他们玩的是中国象棋——这个已有两千余年历史的、中国最流行的棋盘游戏。

静かな路地裏、にぎやかな公園、あるいは門が開かれた個人の家の庭、そこでは机の上であろうと長椅子の上であろうと、人々がボードゲームに興じている。2人のプレイヤーの周囲には人だかりができ、熱心に局面を批評するだけでなく、次の一手を議論している。これは中国で日常的に目にする一幕である。

これを見たあなたは、それが2000年余りの歴史を持ち、中国で最も流行しているボードゲームの中国将棋であると自信をもって言えるだろう。



起源の謎

“象棋”在中文里，字面意思是“大象游戏”或“象形棋”，是一种适合两名玩家参与的传统策略桌游。早在公元前4世纪，《楚辞》（一部古代中国诗歌选集）中就有关于象棋的记载。这似乎表明，战国时期象棋就已经在楚国流行开来。

「象棋（将棋の中国語）」の文字本来の意味は「象のゲーム」または「象の形をした将棋」であり、2人で戦う伝統的な戦略ゲームである。早くも紀元前4世紀の『楚辞』（古代中国の詩集）には「象棋」に関する記述があり、将棋が戦国時代の楚の国で流行し始めたことを物語っている。

而在国际上，象棋的起源一直存在争议。一些学者和历史学家认为，中国象棋是由印度人在6世纪发明的国际象棋演变而来的，但也有人提出截然相反的看法。

一方、国際的には将棋の起源について論争が続いている。学者や歴史学者の中には、中国将棋は6世紀にインド人が発明したチェスの変遷を遂げながら伝わったものだと考える人や、それとは相反する見方をする人がいる。

例如，著名的英国汉学家李约瑟（Joseph Needham，1900—1995）认为，占卜术可能是世界上多种游戏的共同起源，而其发展始于中国的占卜技艺。因此，印度象棋理应也源于中国的一种占卜游戏。

例えば、イギリスの著名な漢学者であるジョゼフ・ニーダム（1900～1995年）は、恐らく占術が世界の各種のボードゲームに共通する起源であり、その発展は中国の占術の技法に端を発したと考えている。そうだとするなら、インド将棋も当然、中国の古いゲームに由来することになる。

同时，前南斯拉夫哲学家、历史学家、东方学家，同时也是知名棋手的帕夫莱·比德夫（Pavle Bidev，1912—1988）也推测，中国象棋是世界上所有象棋种类的开端。

また、旧ユーゴスラビアの哲学者、歴史学者、東方学者そして有名な棋士でもあるパヴル・ビデヴ（1912～1988年）も、中国将棋は世界のあらゆる将棋の類いの始まりだと推測している。

此外，潜心研究中国历史和象棋的学者李祥甫（David H. Li）也力证象棋源于中国。在收集和研究了181种古今中外的棋史资料和文献后，他进一步称，象棋是由中国古代将军韩信在公元前203年发明的。在他的《象棋家谱》一书中，李认为韩信将早期“六博”游戏的一些规则，以及中国古代的军事策略融入了象棋。这本书获得了《游戏杂志》1998年的“年度图书奖”。

このほか、中国の歴史と将棋の研究に心血を注いだ学者の李祥甫は、将棋の起源が中国にあると力説した。彼は将棋の歴史に関する古今東西の資料や文献181点を収集して研究した結果、さらに踏み込んで、将棋は中国古代の将軍である韓信が紀元前203年に発明したものだと主張した。彼は自著『象棋家譜』の中で、韓信は初期の「六博」というゲームの一部のルールおよび中国古代の軍事戦略を将棋に取り入れたと考えており、この本は1998年に『遊戯雑誌』の「年度図書賞」を受賞した。

李祥甫还认为，韩信发明的象棋后来通过丝绸之路传到波斯和印度，从而演变成形式多样的波斯象棋（shatranj）和印度四方棋（chaturanga）。它还被引入中国的邻国，如日本和韩国，成为日本将棋（shogi）和韩国将棋（janggi）的原型。虽然李的这一说法当时常受到其他学者的质疑，但现在，国际象棋源于中国的观点得到了越来越多人的认可。

また、李祥甫は韓信が発明した将棋がその後、シルクロードを経由してベルシャやインドに伝わり、ベルシャ将棋（シャトランジ）やインドの4人制将棋（チャトランガ）などさまざまな形に変化したと考えている。さらに、日本や韓国などの中国の隣国にも伝わり、日本の将棋や韓国の将棋（チャンギ）の原型が生まれた。当時、李の主張はほかの学者から懐疑的に受け取られていたが、現在では将棋の起源が中国にあるという見方は多くの人々に支持されるようになった。



名称之由

名称の由来

事实上，就连“象棋”这一名称本身都有诸多不同解释。在汉语中，“象”一般指“大象”，“棋”则指棋盘类游戏。名称中之所以有“象”，可能是因为棋子最初是用象牙制作的，也可能是因为古代常常征召大象用于军事。还有人认为是因为棋局中总会出现变动的信息，如同棋的天象，因此才有了“象棋”之称。

実際のところ、「象棋」という名称の由来にさえ諸説ある。中国語で「象」は一般的に動物の象を意味し、「棋」はいわゆるボードゲーム類を指す。「象」という字があるのは、恐らく将棋の駒が最初は象牙から作られていたからだとか、古代には象をしばしば召集して軍事に利用していたからだと言われる。このほか、将棋の局面では常に情報が変化し、それが天象（天文現象）のようであることから、「象棋」という名称がついたと主張する人もいる。

根据中国的一个传说，象棋也曾与橘子这一水果有关。传说在很久以前，在今天中国西南部四川省的某个地方，有一位农夫以种橘为生。一天，他发现了两个大得出奇的橘子，于是立刻把它们带回了家。

中国の伝説によると、将棋はかつて果物のミカンと関係があったとされる。その昔、中国南西部の四川省のある場所で、一人の農夫がミカンの栽培で生計を立てていた。ある日、彼は不思議な大きさの2つのミカンを見つけ、すぐさま家に持ち帰った。

当切开那两个超大的橘子时，他发现每个橘子里面居然都有两个长着长长的灰白头发和胡子的老人在下象棋。其中一位老人见状，说他们的棋局突然被农夫打断了，所以就告退。顷刻间，这四个老人就乘小龙飞速升上了天。从那之后，象棋也被称作“橘中戏”。

彼がその2つの巨大なミカンを切ろうとしたまさにそのとき、それぞれのミカンの中で長い白髪と白ひげを生やした2人の老人が将棋に興じているのを発見した。そして、そのうちの1人の老人が状況に気づき、農夫に将棋を邪魔されたと言って、その場を後にした。すると、その瞬間に4人の老人は小さな龍に乗ってあっという間に天に昇ってしまった。それ以降、将棋は「橘中戯（ミカンの中のゲーム）」とも呼ばれている。

棋面之观

将棋の仕組み

据史料记载，现代象棋直到唐代（618—907）才初具雏形，宋代（960—1279）又增加了两套棋子，最终成为我们今天所见到的样子。

史料の記載によると、現代の将棋は唐の時代（618～907年）にその原型が形成され、宋の時代（960～1279年）に2種類の駒を加えて現在の形になったとされる。

在现代中国象棋中，一共有32枚扁圆的棋子，通常分为黑、红两色。双方各有一个将（或帅）、两个士（或仕）、两个象（或相）、两个马、两个车、两个炮、五个卒（或兵）（括号外为黑方，括号内为红方）。棋子上会刻上这些不同的汉字来表明这枚棋子的类型。

現代の中国将棋には合わせて32枚の平たくて丸い駒があり、通常、黒と赤の2色に分かれる。双方に「将（または帥）」が1枚、「士（または仕）」が2枚、「象（または相）」が2枚、「馬」が2枚、「車」が2枚、「炮」が2枚、「卒（または兵）」が5枚ある（かっこの外は黒方、かっこの中は赤方の駒の名称）。駒に刻まれたこれらの異なる漢字は駒の類型を意味する。

棋局是在九道竖线和十道横线交叉组成的棋盘上进行的。在十道横线的正中间，有一个横贯棋盘的空白区域，标着“楚河汉界”。这即是对战双方的视觉分界线，两边各有32个

（4×8）正方形棋格，由对阵双方各据一方。

将棋は縦9本、横10本の線が交差した盤上で行われる。10本の横線の真ん中には、盤を横切る空白の部分があり、「楚河漢界（楚と漢の境目）」を意味する。これはすなわち、対戦での双方の視覚的な境界線であり、双方に32（4×8）の正方形の升があって、それを自分の陣地とする。

但与西方或国际象棋不同的是，中国象棋的棋子并非落在棋格中间，而是放在棋盘线的十字交汇点上。棋局的最终目标则是捕获对方的最高统领——将或帅。

チェスと異なるのは、中国将棋では駒を升の中に置かず、縦と横の線が十字に交差する点に置くところである。局面の最終目標は相手の頭領である「将」または「帥」を捕らえることである。

象棋的规则十分简单，但涉及的各种策略和走法不计其数，总能让玩家感到其乐无穷——这或许就是象棋在中国如此受欢迎，且在各行各业老少皆宜的原因。

将棋のルールは非常に簡単であるが、戦略や駒の進め方は数え切れず、プレーヤーは楽しいことこの上ない。これこそが将棋が中国でこれほど人気がある理由であり、老若男女が楽しむことができる理由なのだろう。

象棋之今

将棋の今

在过去的几十年里，中国象棋不断吸引世界各地棋手的兴趣。许多国家和地区如今都有了自己的象棋联盟和俱乐部。1990年，第一届世界象棋锦标赛在新加坡举行，后来每两年举办一届，成为世界象棋联合会主办的世界上水平最高、规模最大的中国象棋比赛之一。

過去数十年にわたって、中国将棋は絶えず世界各地の棋士を引き付けている。今では多くの国と地域に自前の象棋連盟やクラブがある。また、1990年に第1回世界象棋選手権がシンガポールで開催され、それ以降、隔年で開催されており、世界象棋連合会が主催する世界で最もレベルが高く、規模が最も大きい中国将棋の大会の一つになっている。

和其他游戏一样，中国象棋现在也能进行线上对弈，尤其受到年轻人的喜爱。但是大多数人还是喜欢聚在公园、街巷或是院子里，热热闹闹地一起下象棋。

現在、中国将棋はその他のゲームと同様にオンラインでも対戦することができ、とりわけ若者に人気である。しかし、多くの人々はやはり公園、道端、あるいは庭に集まり、にぎやかに将棋を楽しんでいる。 孔

天下功夫 出少林

天下のカンフー
少林より出ず

作者：吴涛 吳涛
赵雪 趙雪
翻译：三好雅彦 三好雅彦





少林寺不仅是汉传佛教禅宗的祖庭，也是闻名世界的功夫圣地，素有“天下功夫出少林，少林功夫甲天下”的美誉。少林武术，作为中华传统武术的一个重要组成部分，既保留了中华传统武术的鲜明特征，又融合了诸多佛教文化元素，从而形成了少林独具特色的综合性武术体系，可谓博大精深，源远流长。

少林寺は漢伝仏教（中国から日本や朝鮮半島などの周辺諸国に伝わった仏教）の禅宗の祖庭（仏教の宗派の開祖が常駐した地）であるだけでなく、世界的に有名なカンフーの聖地でもあり、「天下のカンフー少林より出（い）ず、少林カンフーは天下第一」の誉れ高い。少林武術は中国の伝統武術の重要な構成要素として、中国の伝統武術の鮮明な特徴をとどめているだけでなく、多くの仏教文化の要素を融合して、少林独自の特色を持つ総合的な武術の体系を形成し、思想が広く深く、古く長い歴史を有しているといっている。

少林寺地处嵩山深处，山林茂密，人烟稀少，猛兽出没。为了生存，僧人们常习武健身，强健体魄。而且，长时间的坐禅容易导致肢体麻木，他们也需要不时地起来活动，久而久之就开创了一些固定套路。另外，少林寺建成之后不久，北魏就

陷入动荡之中，连年的战祸让洛阳及其周围地区成为危险之地，僧人们必须习武以防身。随着时间的推移，少林武术逐渐形成体系并走向成熟，成为执武林之牛耳的武学门派，吸引无数江湖志士前来拜师习武。

少林寺は嵩山の奥深くにあり、山林がうっそうと茂り、人里を離れ、猛獣が出没する。生きるために、僧たちは常に武術を身に付け、体を鍛えた。そして、長時間の座禅では手足がしびれやすく、時折、立ち上がって活動する必要がある、年月が経過するうちにいくつかの決まったやり方が考え出された。また、少林寺が建立されてまもなく、北魏は激動の嵐にもまれ、打ち続く戦禍が洛陽とその周辺の地域を危険にさらし、僧たちは武術を習得することによって身を守らなければならなかった。時がたつにつれて、少林武術は徐々に体系を成して、成熟していき、武術界を牛耳る武学の門派となり、諸国を渡り歩く多くの志士が引き付けられ弟子入りして武術を学んだ。

少林武术总的特点是刚劲有力、威武勇猛、攻防严密、立足实战。少林武术讲究“拳打一条线”，即练拳时，起、落、进、退、反、侧、收、纵都要在一条线上运动。少林武术还主



张“拳打卧牛之地”，擅长近距离搏击，在前后两三步的小范围内决定胜负。因此，少林武术极为重视实用性，很少有花架子，动作行云流水，招式变幻多端。

少林武术の総体的な特徴は、剛健で力強く、威風堂々として勇猛、攻防が綿密で、実戦に立脚していることである。少林武术は「拳は同じ線上で出すこと」を重んずる。すなわち拳を鍛える際には、起、落、進、退、反、側、収、縦がすべて1本の線の上で動かなければならない。少林武术はまた「牛が伏せるくらいの場所があれば拳を打てる」と主張し、近距離の打撃に優れ、前後2、3歩の小さな範囲で勝負を決着させる。そのため、少林武术は実用性を特に重視し、見た目が華々しいだけで実戦に役立たない動きが少なく、動作は自然で滞りがなく、型は变幻自在である。

少林武术中最为人们所熟知的当属“少林七十二绝技”。这七十二绝技的招式种类齐全，包含了拳法、掌法、指法、抓法、擒拿手等招式，还有剑法、刀法、杖法、棍法等兵械使用招式，还有身法、内功、特殊武功等武林绝学。这些招式名称多取自佛教经典，例如般若掌、大力金刚掌、多罗叶指、无相劫指、大慈大悲千叶手等等。

少林武术で最もよく知られているのは、「少林七十二芸」である。この72の妙技は型の種類がそろっていて、拳法、掌法、指法、抓法、擒拿手などの型が含まれ、さらに剣法、刀法、杖法、棍法などの武器を使用する型もあり、身法、内功、特殊武功などの武林絶学（武术界の学問を越えた境地）もある。これらの型の名称の多くは仏教の経典から取ったもので、例えば般若掌、大力金刚掌、多羅葉指、無相劫指、大慈大悲千葉手などである。



摄影·释延霏
积延霏

“禅武合一”是少林武术最鲜明的特点之一，展现了少林禅法与少林武术的完美结合。少林武术并不仅仅是一套套拳术，还包含了由内而外的修炼过程。妙兴大师曾经把少林武术总结为：“出于心灵，发于性能，似刚非刚，似实而虚。”很好地阐释了少林武术和禅宗的关系。同时，少林武术还十分注重武德修养。少林寺对习武者的规约甚多，其宗旨都是在强调习武者的个人德行以及民族大义。

「禅武合一」は少林武術の最も鮮明な特徴の一つであり、少林禅法と少林武術の完璧な結合を表現している。少林武術は単なる拳法にとどまらず、内から外へという修練の過程も包含している。妙興大師（20世紀初期の少林寺の高僧）はかつて少林武術を「心から出て、力を発揮し、剛のようで剛でなく、実のようで虚である」と総括し、少林武術と禅宗の関

係を的確に解説した。同時に、少林武術は武徳修養を重視している。少林寺は武術を学ぶ者に対する規約が非常に多く、その趣旨はすべて武術を学ぶ者個人の徳行と民族の大義を説くことにある。

少林武术带给人们的印象总是正气凛然、高深莫测。中国著名武侠小说金庸先生在其代表作《天龙八部》中描绘了纷繁复杂、高手林立的武侠江湖，而其中最令人惊艳的形象不是那些各显神通的主角们，而是少林寺藏经阁前一个默默无闻的扫地僧。这个扫地僧能洞察世间万事，武功更是横扫天下，是一个深藏不露、大彻大悟的智者。这一形象的塑造尽展少林武功的深不可测和佛道的永无止境，给读者们留下了极为深刻的印象。除了文学作品，少林武功也常见于影视作品之中，并在

国内外广泛传播，深受观众们的喜爱。

少林武術は正しい氣風を堅持して人を畏敬させ、底知れぬ奥深さがあるという印象を人々に与える。中国の著名な武俠小説家である金庸氏は、その代表作『天龍八部』の中で、達人が林立し入り組んで複雑な武俠の社会を描いているが、その中で人を最も驚かせるのは、それぞれの神通力を振るう主役たちではなく、少林寺の藏經閣の前にいる無名の掃除の僧である。この掃除の僧は世の中のすべてを洞察することができ、武功は天下を一掃できる。彼は真理を会得した高僧であり、深く隠れて表には現れない。このイメージは少林武功の計り知れない深さと仏道の無限の境地を伝え、読者に極めて深い印象を残した。文学作品のほか、少林武功は映画やテレビの作品でもよく見られ、中国の国内外に広く伝えられて、観衆に深く愛されている。

作为中国优秀传统文化，少林武术不仅在国内广为流传，而且在国外也已生根、开花、结果。例如，根据史书记载，早在明末清初，少林武术就已经传到了日本。当时，深谙少林功夫的陈元赞随日本商船来到长崎经商，后来他罹患痢疾，无法经历海上风浪，于是就滞留在日本并将少林武术传到了日本。这对后来包括柔术在内的日本武术体系的形成影响深远。直到今天，少林武术在日本依然广受欢迎，其境内建有多座少林寺和少林道场，不少日本民众对少林武术十分痴迷。此外，少林武术作为一种民间外交手段，在中日友好往来中也发挥着越来越重要的作用。

中国の優れた伝統文化として、少林武術は中国国内に流布しているだけでなく、国外にも根を下ろし、花を咲かせ、実

を結んでいる。例えば、史書の記載によると、明の末期から清の初期にかけて少林武術が日本に伝わったという。当時、少林カンフーを熟知していた陳元贊は日本の商船で長崎に来て商売を営んでいたが、その後、赤痢にかかり、海の荒波を乗り越えることができず、日本にとどまって少林武術を日本に伝えた。これは後に柔術を含む日本の武術体系に大きな影響を与えた。今日に至るまで、少林武術は日本で広く受け入れられ、日本国内には多くの少林寺と少林道場が建てられ、多くの日本人が少林武術に打ち込んでいる。また、少林武術は民間の外交手段として、中国と日本の友好的な往来に非常に重要な役割を果たしている。

时至今日，少林武术作为中华优秀传统文化的一部分，依旧是人们心中当之无愧的经典，彰显了中华民族的雄伟气魄。如今在几十个国家地区都成立了传授和学习少林武术的组织。海外少林弟子也纷纷立碑于祖庭少林寺。历经岁月积淀的少林武术，以更加昂扬的气概诠释着心怀大义、兼济天下的武林精神，向世人展示着气势磅礴的武术魅力和绵绵悠长的中华文化。

少林武術は中国の伝統文化の一部として、人々が心の中で誇り得る經典であり、中華民族の勇壮な魂を世に知らしめている。今では少林武術を伝授し、学ぶ組織が数十の国と地域に設立されている。国外の少林の弟子も祖庭の少林寺に続々と碑を立てている。長年にわたって蓄積されてきた少林武術は、より高揚した氣概で大義を胸に、天下に恩恵を与える武林精神を解釈し、氣迫みなぎる武術の魅力と連綿と続く中国の伝統文化を世界に示している。孔



摄影：释延霏 积延霏



中国語の品詞分類について

作者：范晓 範曉
翻译：周星 周星

浅说 汉语词的分类



语 法上所说的“词类”，是根据词在语法结构里的功能分出来的类别，所以是词的语法分类。这种词类区分，是为了说明词在语法结构中的用法，说明词和词相互结合的规律性，所以无论是讲构词法，还是讲造句法，都不能不讲词类。

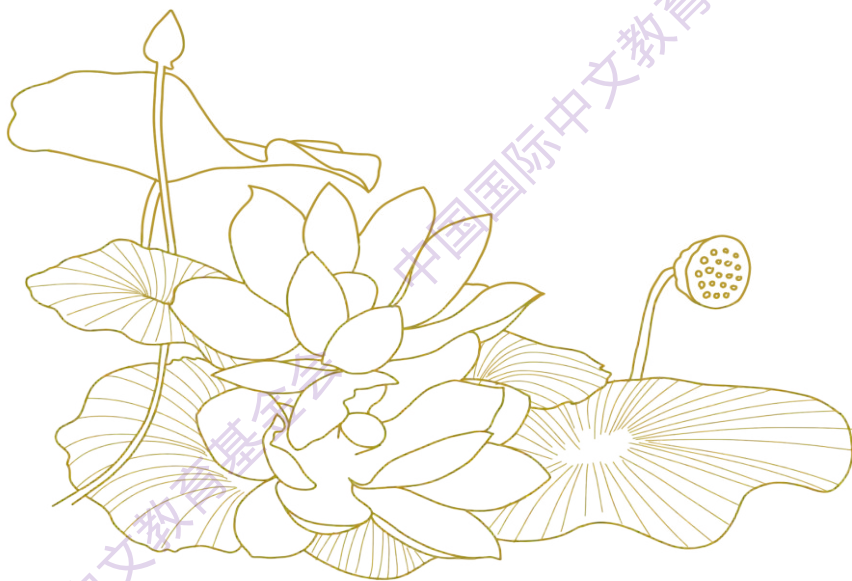
汉语的词类，首先可根据词在句法结构里，能否单独充当句法成分区分出实词和虚词两大类。实词是指能在句法结构里单独作某种句法成分的词，如“天”“走”“看”“伟大”“很”等。虚词是指不能在句法结构里单独作某种句法成分的词，如“的”“而”“吗”“所以”等。在分出实词、虚词以后，可以进行再分类。

实词的不同句法功能表现在词和词的结合能力上，即能不能结合？怎样结合？结合后表示什么关系？这种结合能力可以在静态形式的短语里显现出来，因此可以在从句或短语

文 法でいうところの品詞は、語の文法構造において果たす機能によって分けられ、語の文法的な性質によって分類されたものである。このような分類は、語の文法構造における用法を説明し、語と語の結合ルールを説明するためのものである。したがって、語構成論においても構文論においても、品詞への考察が必要になってくるのである。

中国語の品詞は、まず、語が文法構造において単独で文の成分になれるか否かによって実詞と虚詞に二分される。実詞というのは、文法構造において独立して文法成分として働くものを指し、例えば、「天（天）」「走（歩く）」「看（見る）」「伟大（偉大）」「很（とても）」、などである。それに対して、虚詞というのは、文法構造において単独で文法成分として働くことができないものを指し、例えば、「的（の）」「而（かつ）」「吗（か）」「所以（だから）」、などである。この実詞と虚詞、という二大分類に基づいて、更に下位分類をすることができる。

実詞の持つさまざまな構文機能的な振る舞いは、語と語の結合能力として現れる。それは、つまり、語と語が結合できるかどうか、どのように結合するのか、結合してできたものがどのような関係を表すのか、といったものである。このような結合能力は、静的形式である句に現れるのである。し



里，通过替换和聚合的方法，来替实词进行下位分类。比如，可以说“不吃”“不走”“不玩”，“吃”“走”“玩”都可跟副词“不”结合，接受副词修饰，句法功能可相互替换，就可聚合为同类。相反，不能说“不笔”“不天”“不电灯”，说明“笔”“天”“电灯”跟“吃”类词在功能上有显著的差别，是不同的词类。

根据实词内部句法功能上的差异，汉语实词可分为八类：(1)名词(“人”“树”“房子”之类)；(2)代词(也称代名词，“我”“你”“他”之类)；(3)动词(“吃”“走”“读”之类)；(4)形容词(“红”“大”“甜”之类)；(5)数词(“一”“五”“八”之类)；(6)指词(“这”“那”“每”之类)；(7)区别词(“男”“国产”“大型”之类)；(8)副词(“不”“很”“忽然”之类)。

虚词的语法功能表现在它依附于实词而作为一种语法手段，在短语或句子里表示某种语法意义(包括句法的、语义的、语用的)。根据虚词的语法功能，汉语的虚词可分为六类：(1)方位词(“上”“下”“里”之类)，附着在实词后构成方位短语；(2)量词(“个”“本”“块”之类)，附着在数词或指词后构成量词短语；(3)介词(“在”“从”“把”之类)，附着在实词前构成

たがって、実詞は、従属節あるいは句において、置き換えや並列といった方法で下位分類されていくことができる。例えば、「不吃(食べない)」「不走(歩かない)」「不玩(遊ばない)」の場合、「吃(食べる)」「走(歩く)」「玩(遊ぶ)」のような語は、いずれも副詞「不(不)」と結びついて副詞の修飾を受け、構文的な機能として相互に取り換えて使うことができるので、同じ種類の語であると認定することができるのである。一方、「笔(ペン)」「天(天)」「电灯(電灯)」のような語は、「不笔(不ペン)」「不天(不天)」「不电灯(不電灯)」と言えないことから、「吃(食べる)」のような類の語と機能的に

判然たる相違があるので、両者が同じ種類の語とは言えないのである。

中国語の実詞は、その構文的な機能の相違によって八種類に分けられる。(1)名詞(「人(人)」「树(木)」「房子(建物)」など)。(2)代詞(代名詞とも。「我(私)」「你(あなた)」「他(彼)」など)。(3)動詞(「吃(食べる)」「走(歩く)」「读(読む)」など)。(4)形容詞(「红(赤い)」「大(大きい)」「甜(甘い)」など)。(5)数詞(「一(一)」「五(五)」「八(八)」など)。(6)指示詞(「这(これ)」「那(それ)」「每(ごとに)」など)。(7)區別詞(「男(男)」「国产(国産)」「大型(大型)」など)。(8)副詞(「不(不)」「很(とても)」「忽然(突然)」など)。

虚詞の文法的な機能は、実詞に付着することを文法的手段として、句或いは文においてある種の文法的な意味(構文的、意味的、語用的)を表すことにある。中国語の虚詞は、その文法的な機能の相違によって六種類に分けられる。(1)方位詞(「上(上)」「下(下)」「里(内)」など)で、実詞の後について方位句を作るものである。(2)量詞(「个(個)」「本(冊)」「块(個)」など)で、数詞の前に、或いは指示詞の後について量詞句を作るものである。(3)介詞(「在(～に、～で)」「从(～から)」「把(「処置を加える」意)」など)で、実詞の前に付着し、介詞目的語句を作るものである。(4)接続詞(「和(～と)」「而(～だが)」「并(また)」など)で、二つ(以上)の実詞(或いは句、或いは従属文)をつないである種の構造的な関係を構成するものである。(5)助詞(「的(～の)」「得(結果、程度を表す補語を導くもの)」「所(～ところの)」など)で、実詞についてある種の構造関係を構成するものである。(6)語氣詞(「啊(～な、～ね)」「吗(～か)」「呢(～のか)」など)で、文末について語氣を表すものである。

介宾短语；(4)连词(“和”“而”“并”之类)，连结两个或两个以上的实词(或短语、小句)表示某种结构关系；(5)助词(“的”“得”“所”之类)，附着在实词上表示某种结构关系；(6)语气词(“啊”“吗”“呢”之类)，附着在句末表示语气。

实词还可进行次范畴分类。这种分类跟词在短语语义结构里的语义功能有关。名词可分为具体名词、抽象名词、处所名词、时间名词；具体名词又可分为有生名词、无生名词，或指人名词、指物名词等；指物名词可分为食物名词、非食物名词等。动词可分为动作动词、性状动词、关系动词等。形容词可分为性质形容词、状态形容词等。副词可分为否定副词、程度副词、时间副词、范围副词、情态副词等。这种次范畴的分类也有某种形式特征。实词的次范畴分类可以分得很细，有助于说明实词与实词搭配时的语义选择规则。

除实词和虚词外，还有两个特殊的词类：感叹词(表示感叹或应答，如“哎”“哎哟”“哦”之类)和拟声词(摹拟声音，如“叮咚”“哗啦”“轰隆隆”之类)。它们并不依附于实词，在句中位置灵活，有时可独立成句；依靠虚词的帮助，在句法结构里有时可以作句法成分，所以它们接近于实词，但又不能归入实词，更不能归入虚词。

实词は、また下位分類を通して細分化されることができる。このような分類は、語が句の意味的な構造において果たす意味的な機能とかわりがある。名詞は、具体名詞、抽象名詞、場所名詞、時間名詞に分かれる。具体名詞は、また生物名詞、無生物名詞、或いは人名詞、物名詞などに細分される。物名詞は、さらに食物名詞、非食物名詞などに分けられる。動詞は、動作動詞、性質状態動詞、関係動詞などに分かれる。形容詞は、性質形容詞、状態形容詞などに分けられる。副詞は、否定副詞、程度副詞、時間副詞、範囲副詞、情態副詞などに分けられる。上に挙げてきたような語についての下位分類は、ある種の形式的な特徴をも備えているものである。実詞の下位分類は、細かく分けられることによって、実詞同士の共起に関する意味的選択制限を明らかにすることができる。

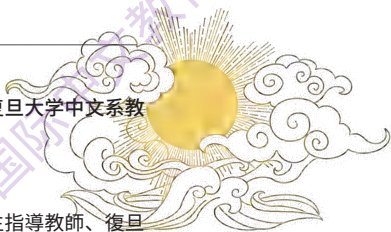
実詞と虚詞のほかに、また感嘆詞と擬音語という二種類の特殊な品詞がある。感嘆詞は、感嘆あるいは応答を表すものであり、例えば、「哎(まあ、おや)」「哎哟(ああ、おっと)」「哦(えっ)」などである。擬音語は、実際の音や声を模写するものであり、例えば、「叮咚(じゅらんじゅらん)」「哗啦(がらっと、ざあっと)」「轰隆隆(ごろごろ、どかんと)」などである。感嘆詞と擬音語は、実詞に付着する必要がなく、文中に現れる位置が自由であるうえに、場合によっては単独で文を作ることができる。また、感嘆詞と擬音語は、虚詞の助けを借りて、文法的構造において構文成分になることがあるので、実詞に近いものであると認められるが、かといって、それらを実詞という部類に入れることができないし、まして虚詞の部類に入れるわけにはいかない。孔

作者简介:

范晓, 著名语言学家, 博士生导师, 复旦大学中文系教授。

作者紹介:

範曉、著名な言語学者、博士課程学生指導教師、復旦大学中国語学部教授。



中原文化是华夏文明之根、中华文化之源、黄河文明中心，历史底蕴丰富厚重。许多成语典故源自中原大地，有关联的名胜遍布河南，比如“问鼎轻重”“阳春白雪”“愚公移山”“安乐窝”等。

中原文化は中国文明および中国文化の源であり、黄河文明の中心として、豊かで深みのある歴史的背景を持っています。「问鼎轻重(鼎の軽重を問う)」、「阳春白雪(高尚な文学・芸術作品)」、「愚公移山(愚公、山を移す)」、「安乐窝(楽しいわが家)」のように、中国の四字熟語・典故には中原地方に由来するものが多く、そのゆかりの地は河南省の各地に広がっています。

中国の四字
熟語・典故
に登場する
河南省の名
所について

成语故事中的 河南名胜

作者：张剑英 張劍英
翻译：韩宇 韓宇



洛阳市九鼎路的大鼎
洛陽市の九鼎通りにある大鼎
撮影：戚建庄 戚建莊

问鼎轻重

鼎曾是古人用来烹煮或盛贮肉类的器具，有三足圆鼎和四足方鼎两类，分有盖和无盖两种，有黏土烧制的陶鼎，也有用青铜铸造的铜鼎。现在大家在很多博物馆中看到的多为青铜鼎。

相传禹铸成九鼎，被夏、商、周三代作为传国之宝，成为统治权力的象征。国灭则鼎迁，历商至周，把定都或建立王朝称为“定鼎”。

春秋时期周定王元年，楚庄王对周王室怀有野心，别有用心地向王孙满打听鼎的大小轻重。王孙满告知楚庄王，鼎的大小、轻重无关紧要，最重要的是以德治国，有德于人民，警告楚庄王不要有非分的想法。此时的“问鼎轻重”比喻篡夺政权或图谋王位的行为。

随着历史的发展，“问鼎轻重”一词由贬义变为褒义。《说唐》中有一段话：“李渊德高望重，手下兵多将勇，见炀帝远游未归，天下大乱，就益发修理甲兵，渐有问鼎中原之志。”由此，“问鼎中原”华丽转身，不再具有“问鼎轻重”的贬义色彩了。现在，“问鼎”一词可借指在比赛或竞争中夺取第一名。

如今，矗立于洛阳市九鼎路上的九鼎雕像，位于南召县与鲁山县交界处的楚长城鲁阳关和方城县的楚长城大关口，承载着千年历史，默默向世人述说着岁月的沧桑，让我们深切领悟“问鼎轻重”的深刻含义。

● 问鼎轻重（鼎の軽重を問う）

鼎は古代の人々が肉を調理したり、保管したりするために使用した器具で、3本足の丸いものと4本足の四角いものに分けられます。また、蓋付きと蓋なしの2種類があり、粘土で作られた土製のものもあれば、銅で鑄造された青銅製のものもあります。現在、博物館で展示されているのは主に後者の青銅鼎となります。

伝説によると、禹によっては鍛造された9つの鼎が、夏・殷・周の3代に伝わる宝物として、王権を象徴する存在だと考えられていました。国が減びると鼎が移り、殷の時代から周の時代にかけて、定都または王朝成立のことを「定鼎」と呼ばれたそうです。

春秋時代の紀元前606年（定王元年）、周王朝を倒そうと野心を抱いた楚の荘王は周の使者・王孫滿に鼎の大小・軽重を問いただし、王位を奪うこともできるのだとほめかしました。王孫滿は「鼎の大小・軽重は大して問題ではなく、最も重要なのは徳をもって国を統治し、民衆に徳を施すことができるかどうかだ」と答え、力づくで天下を取ろうとする荘王に釘を刺したのです。ここでは「鼎の軽重を問う」という表現は、政権を滅ぼして天下を取ろうとすることを意味します。

次第に時代が変わり、「鼎の軽重を問う」という言葉の意味もネガティブなものからポジティブに捉えられるものに変化しました。歴史小説の『説唐演義』には、次のような一節があります。「隋末に煬帝の失政から天下が乱れたところ、高い人望とまとまった軍事力を持った李淵は、中原に位置する長安に出兵し、反乱を起こすよう決意した」。ここで言う「問鼎中原（中原地方を取ろう）」という言葉には、もはや本来のネガティブな意味がなく、一転してポジティブな表現へと変身しました。今日、「問鼎」はよくレースや競争などで優勝することを意味するようになりました。

「九鼎の像」は今、洛陽市の九鼎通りに聳え立っています。同じく千年の歴史を誇る南召県と魯山県の境に位置する「楚の長城」の魯陽関、方城県に位置する同本関とともに、大河のように流れる時代を映し出しながら、「鼎の軽重を問う」にまつわる話を聞かせてくれています。

● 阳春白雪（高尚な文学・芸術作品）

四字熟語の「陽春白雪」は、戦国時代にある楚の国の高尚な歌曲である『陽春』と『白雪』に由来します。

戦国時代、楚の文人・宋玉の作品『対楚王問』には、次のようなことが記されています。「楚の都に一人の男が歌っていた。最初の『下里』、『巴人』という曲には数千人が和して口ずさんだが、『陽阿』、『薤露』あたりでは数百人、『陽春』、『白雪』となると数十人、さらに高度なテクニックが求められる場合にはわずか数人程度と、唱和する人が次第に減っ

阳春白雪

“阳春白雪”这个成语，来源于战国时期楚国的两首高雅乐曲《阳春》和《白雪》。

战国时期，楚国人宋玉写有《对楚王问》一文，其中写道：“有个人在都城唱歌，起初他唱《下里》《巴人》时，都城里跟着他唱的有几千；后来唱《阳阿》《薤露》（xiè lù）时，都城里跟着他唱的有几百人；等到唱《阳春》《白雪》的时候，都城里跟着他唱的不过几十人；最后当歌曲再增加一些高难度的技巧时，都城里跟着他应和的不过几个人罢了。这样看来，歌曲越是高雅，唱和的人也就越少。”文中提到的《下里》《巴人》《阳阿》《薤露》与《阳春》《白雪》一样，都是歌曲名。因此，后人多用“阳春白雪”来泛指高深的、高雅的文学艺术，用“下里巴人”来泛指通俗的、普及的文艺作品。

《阳春》和《白雪》是春秋时期晋国大音乐家师旷在一个土台上完成的。这个土台现在在开封禹王台公园内，相传师旷曾在此吹奏乐典，故后人称此为“吹台”。师旷并不是天资聪颖的人，他学琴三年，但弹奏水平仍一般，被师傅臭骂一通。师旷无地自容，用绣花针刺瞎双眼。俗话说“有志者，事竟成。”盲了之后的师旷后来创作出《阳春》《白雪》，与《下里》《巴人》相对，使后世对艺术产生了高雅和通俗之分。

ていった。要するに、歌曲は高尚であるほど理解されなくなることが分かるのだ」という。ここに登場する『下里』、『巴人』、『陽阿』、『薤露』、『陽春』、『白雪』のいずれも当時の歌曲の曲名ですが、今でも高尚な文学・芸術作品を指す場合には「陽春白雪」、庶民にも広く知られるものなら「下里巴人」に喩えることが多いのです。

ちなみに、歌曲の『陽春』、『白雪』は春秋時代の晋の有名な楽人・師曠の作品とされています。創作の現場とされる土台は現在、開封市の禹王台公園の構内にあります。師曠はこの土台で演奏したことがあるところから、「演奏の台」とも呼ばれています。師曠は生まれつきの天才というわけではなく、三年間琴の勉強をしても芽が出ず、師匠からも見放されたという。「志有る者は事竟に成る」という言葉の通り、屈辱を味わった師曠はなんと針で自らの目を刺し、盲目となってからは、高曲の『陽春』、『白雪』を残し、『下里』、『巴人』と対照的なものとして、芸術の世界における高尚な作品とポピュラーな作品の違いを鮮明に打ち出しました。

●愚公移山（愚公、山を移す）

「愚公移山」という四字熟語の由来は、最もよく知られている昔話の一つです。昔々、北山に愚公という90歳近くの男がいました。彼の家は太行山と王屋山の2つの大きな山に面しており、行く手が遮られているため、出入りするたびに大きく迂回しなければなりません。そこで、愚公は2つの山を切り崩そうと決意しました。黄河のほとりに住む利口な老人は、その話を聞いてあざ笑って言いました。「呆れたものだ。君の古い先短い力では、山の草一本だって満足には抜けまい。まして、あれだけ膨大な土と石をどうするのだ」。すると、愚公は次のように答えました。「わしが死んでも、子が後を継ぐ。その子はさらに孫を生み、孫はまた子を生む。子子孫孫、尽き果てることはない。それに対し、山の土砂は増えていくわけでもないし、いつかは平らにできるのではないか」。このように、愚公は息子や孫たちを引き連れ、毎日弛まず山を崩し始めました。その真心に感心した天帝は、巨人の神の二人の息子に命じて、二つの山を背負わせて、遠くに運ばせてやりました。この四字熟語はのち、「困難を恐れずに物事を行い、忍耐強く



开封禹王台公园的师曠塑像
開封市の禹王台公園にある師曠の像
撮影：戚建莊 戚建莊

愚公移山

“愚公移山”这一成语，是一个家喻户晓的古代寓言故事。传说，北山有个名叫愚公的人，快90岁了。他居住的门前有太行、王屋两座大山，阻塞了通行的道路，出来进去都要绕道，于是愚公下决心要移去它们。河曲的智叟听后，讥笑愚公自不量力：“你简直太愚蠢了！就凭你残余的岁月、剩下的力气，连山上的一棵草都动不了，又能把泥土、石头怎么样呢？”愚公说：“我死之后有我儿子，儿子死了还有孙子，子子孙孙是没有穷尽的，而山不会再增高了，为什么不能挖平它呢？”于是，他率领全家人每天不停地挖山。最终，天帝被愚公的诚心感动，命令大力神背走了那两座山。因此，后人常用“愚公移山”来比喻做事不畏艰难、迎难而上、坚忍不拔。

“愚公移山”的地点现在河南省济源市境内。太行、王屋两山雄踞市区西北，是河南、山西两省的自然分界。当我们伫立在“愚公移山”纪念碑前，看着愚公挥舞铁镐的雄劲雕像，立刻便会感受到愚公那让太行、王屋让道的雄心壮志和无坚不摧的意志力量。

安乐窝

邵雍是北宋哲学家，祖籍范阳（今河北涿州），后随父迁居共城（今河南辉县市）。邵雍初到洛阳时，所居房屋都是棚草做的，难以抵挡风雨，他却依然怡然自得。富弼、司马光、吕公著等退居洛阳，敬重邵雍，为邵雍置办了接近都市的带园地的住宅。邵雍给住宅起名“安乐窝”，并写下《安乐窝中吟》。后人遂用“安乐窝”比喻舒服安逸的住所和生活环境。

时光流转、岁月更迭，邵雍在洛阳的“安乐窝”早已化为历史的尘烟，荡然无存。但是，辉县市的百泉风景区内，依旧保存着邵雍隐居时期的“安乐窝”遗址。它像自己的主人一样，淡泊入世、道化于心，在岁月的轮回中静静地守候着昔日的清静与安详。

成语观照历史，名胜佐证文化。当游览这些名胜、联想并咀嚼这些成语典故时，人们会感受到中原历史之久远、文化之厚重，别有一番滋味。

努力続ける」ことのたとえとして、一般的に使われるようになりました。

「愚公移山」の地とされるのは、現在の河南省済源市に当たります。太行山と王屋山の2つの山は町の北西部に位置し、河南省と山西省の境目にもなっています。「愚公移山」の記念碑の前に立ち、ピックを振るう愚公の像を見ると、太行山と王屋山までも切り崩そうとする大きな志と強い意志には感動せずにはられません。

● 安乐窝（自由自在のわが家）

邵雍は、北宋時代の哲学者。范陽（現在の河北省涿州市）の出身で、幼い時に父に従い、共城（現在の河南省輝県市）に移住しました。洛陽に移り、草で屋根を葺いた家に住み始めた邵雍は、風雨にさらされながらも、悠々自適の生活を送っていました。のち政界から引退し、同じく洛陽に移り住んだ富弼や司馬光、呂公著らと親交を持ち、郷里に近いところに「安楽窩」と称する庵を立ててもらい、「安楽窩中吟」という詩を残しました。今日でも、「楽しく住みごごちのよい住まいや生活環境」のたとえとして使われています。

時代が移り変わり、洛陽にあった邵雍の「安楽窩」には、もはや昔の面影はありません。残された隠居の旧跡は、今、輝県市百泉自然公園の中にありますが、かつての持ち主である邵雍のように、一生任官せず市井の隠者として、世界を経緯する「道」を明らかにすることを目指し、移りゆく時の中で、今でも当時の静けさと安らぎを見守り続けています。

中国の四字熟語は歴史を照らし合わせ、名所もまた文化の象徴となっています。これらの名所を訪れ、四字熟語や典故の意味を噛み締め、思いを馳せると、中原地方の長い歴史と深い文化に改めて感銘することとなるでしょう。●

輝県市百泉風景区内邵雍隠居时期的「安楽窩」遗址
輝県市百泉自然公園内にある邵雍隠居の庵である
「安楽窩」の旧跡
撮影：戚建庄 戚建庄



诗歌：
我在六月等你

詩・6月に会おうね



作者：马金波 馬金波
翻译：韩宇 韓宇

繁华万千，
挡不住岁月流转；
青春年少，
伤不起光阴似箭。

乍暖还寒的三月，
孕育着六月相见；
闻着金穗轻舞的麦香，
我等你绽放绚烂。

我在六月等你，
轻摆的时钟，
送走了多少寒窗苦读的夜晚；
撕掉的日历，
记录了太多青春懵懂的诗篇。

我在六月等你，
抚摸你日渐成熟的伟岸，
说不出是欣慰、释然；
凝视你稍带忧郁的笑脸，
读出了坚定和果敢。

いくら栄えようが
時が過ぎてしまう
どんなに若かりうが
そのうち大人になる

肌寒い3月なのに
来たる6月を心待つ
麦の穂が金色に熟す頃に
輝く姿を目に焼き付けたい

6月に会おうね
時を刻む音に
夜中まで勉強漬けの日々
めくるカレンダーに
あどけない青春のメモリー

6月に会おうね
鍛え上げた体に触れ
「大きくなったなあ」と感激
憂いを帯びた笑顔を見て
不退転の決意を感じる



我在六月等你，
深蓝的课桌，
支撑你百折不挠地登攀；
松香淡淡的床板，
托起你的埋头苦干。

我在六月等你，
明净的操场，
刻录你的拼搏与呐喊；
璀璨的报告厅，
回荡你的歌声和誓言。

我在六月等你，
在那个炎热初现的夏天，
经历冰与火的淬炼，
你怎惧命运挑战！

我在六月等你，
百花争艳；
感谢那个奋战百日的自己吧，
习得满腹经纶，
还有一颗英雄虎胆，
攻坚克难。

6月に会おうね
ダークブルーの学習机に
負けない心で立ち向かえ
ヒノキ薫るベッドに
上を目指す、あなたの夢

6月に会おうね
明るくきれいなグラウンドに
汗と涙が流れ
フラッシュが光るアリーナに
歌声と宣誓が響き渡る

6月に会おうね
初夏の日に
試練を乗り越え
運命を切り開く

6月に会おうね
百花繚乱の季節に
学問に強く、困難にも負けない
長い戦いを制した勇者に敬意



我在六月等你，
力挽狂澜；
感恩和你同舟共济的老师吧，
倾注满腔热情，
使出浑身解数，
把你浇灌。

我在六月等你，
望眼欲穿；
我的孩子能否经得起考验？
为了你能展翅高翔，
严慈并济的父母，
等了整整十二年。

6月に会おうね
流れを自分のものに
渾身の力で、熱意を伝え
共に戦い抜いた先生に感謝

6月に会おうね
十二年も待ちに待ったその日まで
厳しくもあり、面倒見いい両親に
最後まで耐えるところを見せられるのか



我在六月等你，
翘首以盼；
你是我精心打造的航船，
让伟大的东方之子在这里诞生成长，
是我的夙愿。

我在六月等你，
我是你踩过地砖，
是你乘凉的小树，
是你敲过的餐盘，
是属于你的录取通知书，
是你向往翱翔的蓝天。

我在六月等你，
等待你在花季
凯旋！

6月に会おうね
楽しみにしていたその日から
新たな船出へ、入念な準備
人生の大舞台で成功させるのか

6月に会おうね
歩んできた道も叩いたキーボードも
日陰の涼しい木々も
合格通知書も憧れの青空も
そこにいるから

6月に会おうね
華々しい季節に
笑顔で帰ってくることを信じて
待っているから 礼

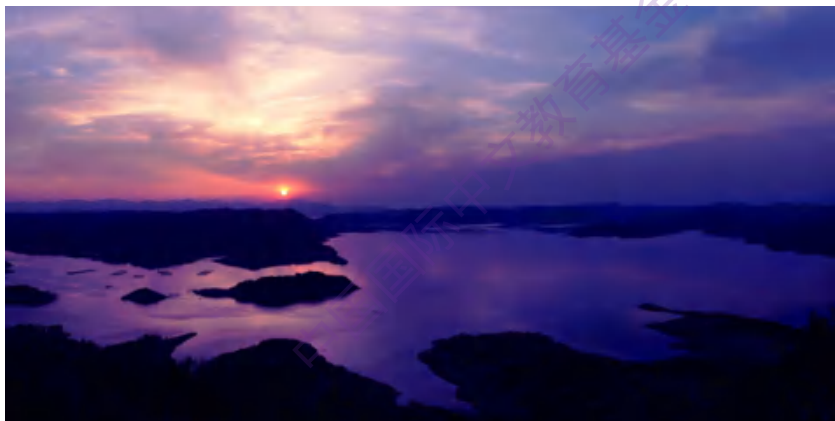
注释：
6月为中国高考月份，每年有1000余万考生参加考试。

注：
中国では、毎年6月に大学入学共通テストが行われ、
参加者数は1,000万人以上に上るといふ。

作家劉震雲：
田舎町から
映画・ドラマの
世界へ

作家刘震云：从
乡土走向银幕

作者：石隐 石隱
翻译：韩宇 韓宇



摄影·马立馬立

中原地方の中心に位置する河南省は、伝統文化と深い関わりを持つだけに、20世紀の文学の近代化において、長い間疎外されてきました。1980年代以降、「文化的なルーツを探ろう」、「田舎に帰ろう」と、ナショナリズム自覚の機運が高まる中、「河南省出身の作家グループ」は中国の文学界に突如頭角を現し、南陽出身・周口出身・鄭州出身といった多くの文人集団を形成しました。中には、カフカ文学賞を受賞した洛陽出身の閻連科や、歴史小説3部作の『康熙大帝』、『雍正皇帝』、『乾隆皇帝』の作者で南陽出身の二月河など、今どきの中国を代表する作家が名を連ねています。これら河南省出身の作家のうち、最もよく知られているのは劉震雲であり、その小説に見られる先駆的な表現や批判的な精神もさることながら、映画化・ドラマ化で成功したことも大きく寄与しました。現代中国の文学の世界においては、同氏の作品はリメイクの回数、興行成績、受賞頻度のいずれにおいても大きな成功を取めたと言えるでしょう。

劉震雲は1958年、河南省延津県の貧しい家庭に生まれ、1973年に軍に入隊し、1978年に復員して故郷に戻りました。同78年

に、北京大学の中国言語文学学科に入学。北京大学は中国でも優れた大学の1つであり、中国言語文学学科も当時最も人気のある専攻の1つでした。劉震雲の執筆生活は大学入学時からスタートしました。

1979年、劉震雲は北京大学の学生雑誌『未名湖』にデビュー作となる『スイカ畑の一夜』を発表。故郷の延津県の農村生活を背景に、歴史、権力、疎外された人々についての考察を表現した短編で、以後長期にわたり、同氏の主な執筆テーマにもなっています。劉震雲曰く、歴史は権力の交代によって構成され、権力もまた疎外された人間性の源となります。このような認知に基づいて、同氏は『被水巻走の酒帘』、『鄉村変奏』『江上』『罪人』など、30以上の短編小説を発表し、批判的な態度が強く、河南省の田舎町という地方色が濃いことで知られています。貧しい幼少期を過ごした劉震雲は、当時、中国の新世代の知識人にありがちな「上から目線」ではなく、あくまで庶民の視点から権力の問題にアプローチする点では、同じく農村生活をテーマとした同世代の作家と大きく異なりました。しかも、同氏の批判には関心や思いやりが満ち溢れる一方、冗談

河南，中原腹地，深厚传统文化的沉积使其在20世纪的文学现代化进程中长期被边缘化。80年代以后，在“文化寻根”和“回归乡土”等民族文化自觉自省的热潮中，“文学豫军”在中国文坛异军突起，形成“南阳作家群”“周口作家群”“郑州作家群”等颇具影响力的文学创作团体，涌现出诸如曾获卡夫卡文学奖的洛阳作家阎连科、创作有帝王小说巨著“落霞三部曲”的南阳作家二月河等一大批当代中国文坛的领军人物。刘震云是“文学豫军”中最富盛名的作家，不仅在于其小说叙事的先锋姿态和批判精神，也在于其作品影视化改编的成功。在当代中国文学领域由原著小说改编的影视作品

中，刘震云的作品无论是改编频率、票房成绩还是所获奖项，都是相当可观的。

刘震云生于1958年的河南省延津县，家境苦寒。1973年参军入伍，1978年复员回乡，当年考入北京大学中国语言文学系。北京大学是中国最出类拔萃的高等院校，中国语言文学系在当时是最令人羡慕的专业之一。从进入北京大学校园起，刘震云便开始了文学创作。

1979年，刘震云在北京大学自办刊物《未名湖》发表处女作《瓜地一夜》。这篇短篇小说以自己家乡延津的农村生活为背景，表现了他对历史、权力以及被异化的人的反思，这也成为刘震云此后长期坚持的创作主题。在刘震云的观念中，历

史是由权力的更替演化构成的，而权力是异化人性的根源。基于这样的认识，他又相继发表了《被水卷去的酒帘》《乡村变奏》《江上》《罪人》等30多篇批判立场鲜明、且带有浓郁河南农村乡土风格的短篇小说。与同期多数乡土作家不同的是，刘震云的贫苦童年使他能够以一种平民视角切入权力问题，没有当时中国新一代知识分子那种高高在上的姿态。并且，刘震云的批判饱含着悲悯的关切，用的却是戏谑、荒诞等颇具“后现代”色彩的方式。当时的刘震云崇拜鲁迅，立志要成为“当代的鲁迅”，这些早期的短篇小说很多都带有鲁迅的影子。

や不条理といった「ポストモダン」的な表現法を多用しています。当時の劉震雲は魯迅に憧れ、「現代の魯迅」になることを目指していたため、初期の短編小説には魯迅の作品を彷彿させるものが多かったのです。

1987年、劉震雲は短編小説『塔鋪』を発表、中国の文学界や文芸評論界から大きな注目を集めました。『塔鋪』は、軍隊から復員した田舎出身の若者が、自らの運命を変えるべく故郷に帰って大学受験に挑戦する物語で、自伝的な色が濃く、作者自身の農村生活を再現したものと思われます。特に、河南省の農村生活を如実に描いた箇所が多く、当時の中国で台頭しつつある「新・リアリズム小説」の代表作とも呼ばれています。その

後の短編小説『新兵連』、中編小説『一地鸡毛』、『単位』、『官場』では、それまでのスタイルを継続した上で、作品の幅を広げ、権力を巡る批判の舞台を初期作の農村部から都市部へと拡大し、批判のみならずより現状打破を目指そうとする姿勢も見受けられました。とあるランキングでは、『一地鸡毛』は「20世紀世界文学の傑作トップ100」にも選ばれました。

1991年、初の長編小説『故郷天下黄花』を発表したのを皮切りに、同じ長編小説の『故郷相處流伝』、『故郷麵和花朵』（全4巻）および中編小説の『温故 一九四二』を次々と世に送り出しました。これらの作品の舞台となるのは、従来の農村部・都市部といった静的な地域社会からよりダイナミックな歴



1987年、劉震雲发表短篇小说《塔鋪》，引起中国文坛和文艺评论界的广泛关注。《塔鋪》写的是一名从军队复员的农村青年为改变命运而回乡参加高考的故事，带有明显的自传色彩，是作家对于自身乡土经验的重构。其中大段对于河南乡村生活的真实性描写，使《塔鋪》成为当时中国方兴未艾的“新写实主义”小说的代表作。随后的短篇小说《新兵连》、中篇小说《一地鸡毛》《单位》《官場》不仅延续了这种创作风格、扩展了创作篇幅，而且对其早期作品的权力批判从农村纵深到城市，在批判意识注入了更多的

突围意识。《一地鸡毛》被媒体评为“20世纪世界百大文学经典”。

1991年，劉震雲发表了第一部长篇小说《故乡天下黄花》，此后又衍生出了长篇小说《故乡相处流传》《故乡面和花朵》（四卷）以及中篇小说《温故一九四二》，将所描写的时空地域由农村、城市等相对静态的地域空间推至广阔的历史空间，也标志着劉震雲由“新写实主义”向“新历史主义”的转向。“故乡”三部曲以狂欢式的荒诞笔调透析了中国传统封建社会权力轮回对人、对欲望的压抑，《温故一九四二》将1942年河南大

饥荒期间国民党高层意志和民间意志并行，刻画了政治权力的冷酷及其对历史真相的吞噬。

在不断拓展权力批判的广度和深度的同时，劉震雲始终保持着对于科技和新媒体的高度敏感。2001年以后，劉震雲先后发表长篇小说《一腔废话》《手机》《我叫刘跃进》，将电视、网络、手机等新媒体作为权力批判的延伸，这也为他跨界电影剧本创作提供了便利。

2009年，劉震雲发表长篇小说《一句顶一万句》，被评论界誉为“中国的《百年孤独》”“21世纪的《水浒传》”，并

史の世界に移り、同氏が「新・リアリズム」から「新・歴史主義」へ舵を取る大きな転換点とも言えるでしょう。「故郷」を題材とした三部作では、従来の中国の封建社会において、権力の交代による人間の欲望が抑圧されることを、不条理な口調で斬り捨てました。一方の『温故 一九四二』では、1942年に起きた河南省の飢饉に対し、国民党上層部の意思と民衆の意思が平行していたところから、政治・権力の冷酷さ及び歴史的真相がいかに隠蔽されたのかを描き出しました。

権力批判の幅と奥深さを増やす一方で、劉震雲は技術の進歩や新しいメディアの台頭にも常に高い関心を持っています。2001年以降、同氏は長編小説『一腔廢話』、『手機』、『我叫劉躍進』を発表し、テレビ・インターネット・携帯電話といった比較的新しいメディアを権力批判の延長線上に置き、映画の脚本制作に転身することを可能にしました。

2009年、劉震雲は長編小説『一句頂一万句』を発表し、中国版『百年の孤独』、21世紀の『水滸伝』などと称賛され、中国の長編小説の最高賞である「茅盾文学賞」を受賞。この小説は、同氏初期の作品によく用いられた庶民的な語り口と田舎町ならではのスタイルを再現し、彼の故郷である河南省延津県を舞台に、夢を追いかける無名の人々の群像を描いたものです。その後、2012年には『我不是潘金蓮』、2017年には『吃瓜時代的女兒們』を発表し、特徴的な皮肉っぽいタッチで現状批判を展開し、「新・官僚制度批判小説」とも名付けられました。2021年に発表された最新作の『一日三秋』では、シュールレアリスムの手法を採用し、『一句頂一万句』の民俗叙事詩的なスタイルを継承しつつ、故郷の河南省延津市の庶民の日常生活や義理人情に関する再考察を試みました。

荣获中国长篇小说的最高奖项“茅盾文学奖”。小说回归刘震云早期的平民叙事和乡土风格，重返自己的故乡河南延津，刻画了一群“无名者”追求梦想的奋斗群像。2012年和2017年，刘震云又发表了长篇小说《我不是潘金莲》和《吃瓜时代的儿女们》，以惯常的反讽手法批判现实，被称为“新官场批判小说”。2021年，刘震云最新发表的长篇小说《一日三秋》以超现实主义的手法再度书写对于故乡河南延津普通人世人事情的反思，延续了《一句顶一万句》的民间史诗风格。

作为作家，刘震云无疑是中国当代最为成功的作家之一，其作品被频繁地改编

成影视剧，并屡获大奖，这让更多的人认识刘震云这个名字。

中国著名导演冯小刚很早就关注到刘震云的小说。1994年，根据刘震云小说《单位》《一地鸡毛》改编的电视剧《一地鸡毛》的热播，使刘震云在中国家喻户晓。随后，冯小刚又根据刘震云小说《手机》《温故一九四二》《我不是潘金莲》改编的同名电影在国内乃至国际影坛屡获佳绩、产生反响，也进一步催熟了冯小刚的个人电影风格。冯小刚曾评价刘震云是自己“电影创作中的灯塔”。刘震云的其他小说，诸如《我叫刘跃进》《塔铺》《一句顶一万句》等也被改编成电影和电视剧。刘震云对于小说的影视化改

作家としての劉震雲は、間違いなく現代中国における最も成功した作家の一人です。それと同時に、同氏の作品は頻繁に映画化・ドラマ化され、数多く受賞してきました。そのため、劉震雲という存在はより一般的に知られるようになりました。

中国の有名な映画監督である馮小刚は、劉震雲の小説に早くから注目しました。1994年、劉震雲の小説『単位』と『一地鸡毛』からのリメイク作であるテレビドラマ『一地鸡毛』が大ヒットし、同氏の名が中国国内に知れ渡りました。その後、劉震雲の小説『手機』、『温故 一九四二』、『我不是潘金蓮』を原作とする馮小刚監督の同名映画は、中国国内ならびに国外の映画賞を次々に獲得し、大きな反響を呼びました。かつて馮小刚は劉氏のことを「映画監督の僕にとって灯台のような存在」と評するほど、同氏の小説のリメイクの中で彼の監督としてのスタイルが一層確立させたのです。一方、『我叫劉躍進』、『塔鋪』、『一句頂一万句』などその他の小説も映画化・ドラマ化され、そのリメイクにおける「二次創作」にも、劉震雲は大きな関心を示し、しばしば自ら脚本を務め、原作の小説に囚われないよう修正を多数加えました。とりわけ、ベルリン国際映画祭では『一句頂一万句』が最優秀脚本賞に輝き、国際的にも一流脚本家の仲間入りを果たしました。

有名な作家、大学教授、大物脚本家といくつもの顔を持つ劉震雲は、河南省延津県の田舎町から、同省出身の作家グループのリーダーとして現れ、常に時代の先を行くような先駆的な表現や権力批判の精神を武器に、中国を代表する作家の一人となりました。その上、映画制作の世界にも飛び込み、自身の小説の映画化・ドラマ化を成功させ、一般的に知れ渡る存在になりました。同氏はまさに、現代中国の映画・ドラマの世界で大きな存在感を発揮しながら、河南省発の文学や文化の活力と発信力の担い手として活躍しています。

编倾注了极大的“再创作”兴趣，往往亲自担任编剧，反复打磨剧本，跳脱小说文本的局限。其中，刘震云凭借《一句顶一万句》荣获柏林国际电影节最佳编剧奖，跻身国际著名编剧行列。

刘震云，集著名作家、大学教授和金牌编剧于一身，从河南延津的农村走出，以“文学豫军”的旗手姿态崛起于文坛，凭借着一以贯之的先锋姿态和对权力的批判精神，成为大家；跨界电影制作，使自己的作品走向银幕而家喻户晓，成为当代中国影视文化的一道独特风景，并延续着河南文学和河南文化饱含的时代生机和世界影响力。孔

古都洛陽

作者：孙成岗 孫成崗
翻译：山建国 山建国

古都洛陽、牡丹が咲
き誇る場所

一个牡丹盛开的地方



在中原大地，有一座历史文化名城叫洛阳，它不仅是中国古代十三个王朝的都城，也是牡丹的故乡。

从大约一千五百年前的隋朝开始，洛阳人就有赏花的习俗。虽然近代的积贫积弱和连绵的战火让牡丹的美丽一度隐身，但改革开放后，温饱问题的解决让洛阳人骨子里那种追求美的基因渐渐复苏。1983年，洛阳举办了第一个官方性质的赏花节会——牡丹花会。从那以后，每年春天牡丹盛开的时节便成了洛阳人共同的节日。2010年，牡丹花会更名为“中国洛阳牡丹文化节”，使这个地方性的赏花活动升格为国家性的节会。每年4月，牡丹盛开的大约20天内，洛阳城内繁花似锦，万人空巷，再现了唐代诗人刘禹锡描写的“唯有牡丹真国色，花开时节动京城”的盛况。

中原大地（広義では黄河流域の平原地区、狭義では河南省を指す）には洛陽という歴史と文化で名高い都市がある。ここには中国古代の13の王朝が都を置き、牡丹のふるさとでもある。

約1500年前の隋の時代から、洛陽の人々には花をめぐる風習があった。近代になると長期にわたる貧困と衰弱、やまめ戦火により、牡丹の美しさは一時影を潜めたが、改革開放後に衣食の問題が解決されたことで、洛陽の人々の中に眠っていた美を追求する遺伝子が徐々によみがえった。1983年、洛陽は最初の政府系の花観賞イベントである「牡丹花会」を開催した。それから毎年春に牡丹が咲き誇る時期は、洛陽の人々に共通する記念日となった。2010年、牡丹花会は「中国洛陽牡丹文化節」に改称され、地方の花観賞イベントから国家級の季節のイベントに格上げされた。毎年4月、牡丹が花の盛りを迎える約20日間は、洛陽市内では咲き乱れる花が錦のように美しく、町中の人々が一目見ようと街を空にするほど出払う。これは唐代の詩人である劉禹錫が描いた「唯（ただ）牡丹（ぼたん）のみ、真の国色（こくしょく）有り、花開く時節、京城（けいじょう）を動かす（ただ牡丹のみは、まことに天下一の美女ともいうべき美しさだ。その花が咲く時節には、長安の都じゅうが大騒ぎになるのだから）」という盛況を再現している。

在洛阳最为常见的牡丹便是洛阳红。这是洛阳土生土长、种植面积最广的牡丹。在一年一度的牡丹文化节，古都洛阳的大街小巷到处都能看到它的身影。它的花朵为高贵的紫红色，花瓣上有隐隐的光泽。它还有一个“焦骨牡丹”的别称，蕴藏着武则天火烧牡丹的传说。武则天是中国历史上唯一的女皇，巨大的皇权让她认为自己无所不能，不仅可以统治天下的生灵，而且可以驾驭世间的万物。于是，在一个隆冬的晚上，她忽发奇想要在第二天早晨去上苑赏花，下诏要求百花在次日凌晨寒而放。百花仙子屈服于女皇的淫威，纷纷开放，唯有牡丹抗旨不遵。愤怒的女皇便让人火烧牡丹，并将她贬到东都洛阳。不曾想，这些烧焦的枯枝接触到洛阳邙岭沟谷的灵气，便生根发芽，开出更为硕大密集的深紫花朵，独领东都春日的风骚。被烈火烧焦的枝条变得更加挺拔，使它有了“焦骨牡丹”的美名。后来女皇建立大周政权，定都洛阳，大兴科举，设立女科，“焦骨牡丹”

的精灵们又纷纷走进恩科考场，拔得头筹。这些传说让牡丹的美丽不再肤浅而变得厚重。然而，这是一个彻头彻尾的误传，实际上正是武则天的迁都才把牡丹的栽培中心从长安带到洛阳。可以说，没有武则天，就没有誉甲天下的洛阳牡丹。

洛陽で最もよく見かける牡丹は洛陽紅である。これは洛陽の生え抜きの品種で、栽培面積が最も大きい。そして、年に一度の牡丹文化節になると、古都洛陽の至るところでその姿を楽しむことができる。花の色は高貴な赤紫で、花びらにはさりげない光沢があり、武则天が牡丹を焼き払ったという伝説にちなんで、「焦骨牡丹」という別称がある。武则天は中国の歴史上唯一の女帝であり、強大な権力を手にして、自分に不可能なことはなく、統治下にある人々だけでなく、万物を思いのままに支配できると考えた。そして、真冬のある夜、武则天は突飛なことを思いつき、翌朝、上苑（長安の皇家園林「上林苑」の別称）で花を観賞するため、すべての花に対して翌日の早朝に厳しい寒さの中で咲くよう命令した。花の神は女帝の暴威に屈して次々と花を咲かせたが、牡丹だけがこれに抵抗して従わなかった。激怒した女帝は牡丹を焼き払い、洛陽に追放するよう命じた。するとあろうことか、焼き払われた牡丹の枝は洛陽の邙嶺にある谷間の霊氣に触れて、根を張り芽を出し、より大きく密集した濃い紫の花を咲かせ、東都の洛陽で春を彩る飛び抜けた存在となった。そして、焼かれて焦げた枝はより力強くなり、そこから「焦骨牡丹」という美しい名が付いた。その後、女帝は周（武周）政権を樹立し、洛陽を都として、科举制度を大きく推進し、さらに女科（女性のための科举）を実施した。そのため「焦骨牡丹」の精霊たちは、皇帝が特別に実施する科举の試験会場に続々と向かい、トップの成績を収めた。これらの伝説により、牡丹の美しさは薄っぺらなものではなく、厚みのあるものになったのである。しかし、実はこの伝説は初めから終わりまで史実と異なって伝承されており、実際には武则天が遷都してから長安にあった牡丹の栽培拠点が洛陽に移されていた。とはいえ、武则天がいなければ、天下一品の洛陽牡丹もなかったといえる。

唐代牡丹的栽培技术已经达到了一个高峰，出现了专业的牡丹种植师。那时已经开始了使牡丹反季节开花的试验，在当时叫做“熏花”。历史上记载的“百花俱开，牡丹独迟”的传说，只是一次“熏花”失败，未能使其与其他花卉一同开放而已。不过，传说中牡丹那种不畏强权的高贵品格，是中国古代读书人孜孜以求的风骨。因此，千百年来，人们津津乐道，口口相传，宁可信其为真。

唐の時代には牡丹の栽培技術が絶頂期を迎え、牡丹の栽培を職業とする者が現れた。当時はすでに牡丹を季節に逆らって咲かせる「熏花」と呼ばれる実験が始まっていた。歴史上の記載にある「すべての花が咲き、牡丹だけは遅れて咲く」という言い伝えは、ただ単に「熏花」が一度失敗し、その他の花と一緒に咲くことができなかっただけである。しかし、言い伝えの中の牡丹には権力を恐れない高貴な品格があり、それは中国古代の知識人がひたすら追い求めていた、困難にもくじけない気概に通じる。ゆえに長い間、人々はその言い伝えが真実だと信じて話題にし、語り継いでいるのである。

牡丹



芍药



不过，与其他地区相比，洛阳独特的气候的确适合牡丹的生长。洛阳的牡丹确实比其他地区的牡丹都要开得旺盛。宋代欧阳修曾说过，“洛阳地脉花最宜，牡丹尤为天下奇”。这位大文豪无疑也是一位酷爱牡丹的人，在百忙中居然写了一部题为《洛阳牡丹记》的牡丹种植学术理论著作，并发出了“洛阳牡丹甲天下”的感慨。

他の地域と比較すると、洛陽の独特な気候は牡丹の生育に適している。洛陽の牡丹は確かに他の地域と比べると盛んに花が咲く。宋の時代には欧阳修が「洛陽の地脈は花に最も宜しく、牡丹は猶ほ天下の奇とす」と述べている。この大文豪は間違いなく牡丹を愛した人物であり、多忙の中で『洛陽牡丹記』と題する牡丹栽培の学術理論書を執筆し、「洛陽の牡丹は天下一品である」と感慨を発している。

牡丹从古代一路走来，不仅花朵美丽，而且带着浓浓的文化色彩。黑海撒金、红莲满堂、赤龙焕彩、菱花湛露、琉璃贯珠、墨楼争辉、青山灌雪……一个个让人浮想联翩的词汇不是什么成语，而是一个个牡丹品种的名称。经过千百年来栽培，现在的牡丹园艺品种已有三千多个，而且每年还会不断有新品种涌现。

牡丹是古代より、花が美しいだけでなく、濃厚な文化の色彩も帯びている。黒海撒金、紅蓮満堂、赤龍煥彩、菱花湛露、琉璃貫珠、墨樓爭輝、青山灌雪……人々はこれらの言葉でさまざまな想像を膨らませることができるが、実はこれらは四字熟語ではなく、牡丹の品種の名称である。長い栽培の時を経て、現在の牡丹の園芸品種は3000種を超え、しかも毎年新しい品種が次々に登場している。

历代的牡丹种植师们按不同的标准对这些繁多的品种进行了分类，形成了三类六型九色的分类体系。从花瓣层次来看，牡丹有单瓣、重瓣、千瓣三类形态，这三类形态的花朵又呈现出葵花型、荷花型、玫瑰型、半球型、皇冠型、绣球型等六种花型，它们艳丽多姿，色彩丰富，有红、紫、粉、白、蓝、绿、黄、黑和复色等九种颜色。

歴代の牡丹栽培者はさまざまな基準でこれほど多くの品種を分類し、「三類六型九色」という分類体系を確立した。まず、花びらの層（枚数）で一重、八重、千重の3種類があり、その3種類の形状の花にはヒマワリ型、ハス型、バラ型、半球型、王冠型、アジサイ型の6種類があって、あでやかで美しく多様な姿をしている。さらに、色彩も豊富で、赤、紫、ピンク、白、青、緑、黄、黒、混色の9種類の色がある。

复色牡丹的代表就是二乔了。它的花朵上有两种颜色，一半是高贵的红紫，另一半是清新的浅粉。一花生两色，故唤作二乔。当然，这是二乔中的上品。有时，它也会开出单色的花朵，在同一株或同一枝上同时开出深紫和浅粉的花来。两种交相辉映的颜色和“铜雀春深锁二乔”的传说，让这种传统的复色牡丹蒙上一层神秘色彩。

混色牡丹的代表格といえば「花二喬」である。この花は2つの色を併せ持ち、半分は高貴な赤紫、もう半分は爽やかな薄いピンクで、1つの花に2つの色があることから「花二喬」と呼ばれている。もちろんこれは「花二喬」の中の高級な品種で、1色のみの花や、1つの株または枝に赤紫の花と薄いピンクの花が同時に咲く種類もある。互いに照り映える2つの色と「銅雀春深うして二喬を鎖（とぎ）さん」の典故により、この種の伝統的な混色牡丹は神秘的な彩りを身にまとっている。

二乔本是三国时期东吴桥公之女，姐姐名唤大乔，是孙策之妻；妹妹名唤小乔，是周瑜之妻。二人本姓为桥，亦作乔。众所周知，江南二乔皆国色也，恰如牡丹一般，貌流离，神娇媚，乃是名副其实的倾国又倾城。“铜雀春深锁二乔”的典故出自唐代诗人杜牧的《赤壁》一诗。实际上，这是诗人在游历赤壁古战场时发出的感慨——若是当年赤壁之战周瑜不得东风之便，那二乔就会落入曹操之手，被其锁于铜雀台之中。这其实只是诗人的一种假设，历史上二乔也并没有被关进铜雀台。但这一典故也从侧面印证了二乔之美，令天下为之痴迷。二乔牡丹，双色明艳且交相辉映，不正如大小乔这对艳色绝世的双生姐妹花吗？

二喬はもともと三国時代の呉（東呉）の橋公という人物の娘たちのことであり、姉の名を大喬と言い、孫策の妻である。妹の名は小喬と言い、周瑜の妻である。この2人の旧姓はいずれも橋、または喬と言う。周知のように、江南の二喬はいずれも絶世の美女であり、まるで牡丹の花のように、たたずまいがはかなげで、なまめかしく、その名の通り国や町が傾くほどの美しさであった。「銅雀春深うして二喬を鎖（とぎ）さん」の典故は唐代の詩人である杜牧の『赤壁』の詩に由来する。これは詩人が赤壁の古戦場を実際に巡り歩いているときに感慨を覚えて詠んだものである。もし当時の赤壁の戦いで周瑜が都合よく東風を受けることがなかったとしたら、二喬は敵の曹操の手に落ち、銅雀台（曹操が造営した宮殿）に幽閉されてしまっただろうとしている。これはあくまで詩人の仮説にすぎず、史実では、二喬は銅雀台に幽閉されていない。しかし、この典故は二喬の美しさが世の人々を夢中にさせたことを側面から裏付けた。牡丹の「花二喬」はその2つの色が鮮やかかつあでやかで互いに照り映え、まるで妖艶で絶世の美女だった大喬と小喬の双子の姉妹のような花ではないだろうか。

洛阳城内有许多观赏牡丹的名胜。王城公园是建国后洛阳最早建造的公园，这是一块具有王气的地方。二千七百多年前，周公营造洛邑，东周





的王城就坐落在这块土地上。这里也是第一次官方举办牡丹花会的地方，共种植了国内外八百多个品种的牡丹，约十余万株。在洛阳，这里的牡丹因花期长、景观好、交通便利而受到八方来客的青睐。另一个则是隋唐遗址植物园，它虽然建园较晚，但坐落在隋唐故城之上，占地面积大。园中种植了约350亩牡丹，有九大色系的牡丹约一千二百多个品种，是中国国内牡丹品种最多的牡丹园之一。园中有一个展示众多名贵牡丹的九色台。它是一个逐级升高的超大圆形观景台，一条条登顶的台阶把园内分成若干个扇形展示区，各区展示了九大色系的百余个品种的精品牡丹。

洛阳市内には数多くの牡丹観賞の名所がある。王城公園は新中国建国後に洛陽で最初にできた公園で、帝王の風格が漂う。2700年余りに周公が洛邑

を造営し、周（東周）の都をこの地に置いた。ここは初めて政府系の牡丹花会が開催された場所で、国内外の800種類を超える牡丹が植えられており、実に十数万株に上る。洛陽の牡丹は開花期が長く景観が素晴らしく、交通が便利なので各地から足を運ぶ観光客の人気を博している。もう1つは隋唐遺跡植物園で、完成は比較的新しいが、隋唐の古城があり、敷地面積が大きい。園内には350畝（1畝は1ヘクタールの15分の1）にわたって牡丹が植えられており、9色の系統の牡丹が約1200種以上植えられ、中国国内の品種が最も多く植えられている牡丹園の1つとなっている。園内には数多くの貴重な牡丹を展示する九色台がある。これは階段状に高くなる巨大な円形の展望台であり、その頂上に上がると、園内がいくつかの扇形の展示エリアに分かれ、各エリアに9色の系統に応じた100余りの品種の美しい牡丹が展示されていることがわかる。

除此之外，还有神州牡丹园、国花园、国家牡丹园、国际牡丹园等。国家牡丹园中有国家牡丹基因库，在这里可以欣赏到中外不同品种的牡丹

作者简介:

孙成岗, 教授、博士生导师, 《日语学习与研究》杂志编委; 曾任中国日语教学研究会副会长、洛阳外国语学院欧亚系主任等。

作者紹介:

孫成崗、教授、博士課程指導教員、雑誌『日本語の学習と研究』編集委員。中国日本語教育研究会副会長、洛陽外国語学院ユーラシア学部主任などを歴任している。

牡丹亭



的风姿。不得不说的还有国际牡丹园, 它位于邙山之上。独特的小气候和众多从国外引进的晚开品种, 使这里在4月底、5月初依然可以展现牡丹竞相绽放的盛况, 为错过花期的赏花客提供一个不留遗憾的机会。

これ以外にも神州牡丹園、国花園、国家牡丹園、国際牡丹園などがある。国家牡丹園の中には中国の牡丹の遺伝子バンクがあり、ここでは国内外のさまざまな品種の牡丹の姿を楽しむことができる。国際牡丹園も忘れてはいけない。ここは邙山（現在の洛陽市北部）にある。その独特な微気候と多くの海外の遅咲き品種により、ここでは4月末から5月初めでも牡丹が競うように咲く盛大な開花を展示することができ、通常の牡丹の見頃を逃した花見客を楽しませている。

常开常新的牡丹不仅为洛阳人带来美的享受, 更带来了可观的经济效益。仅2021年第39届牡丹文化节, 就为洛阳带来了约280亿元的旅游收入和投资总额达1100多亿元的百余个大型投资项目。牡丹让这座古老的城市焕发了青春, 增加了活力, 不仅提供了一张让世界了解洛阳的名片, 而

且也为洛阳走向世界搭建了一座桥梁。

常に咲き続け、常にその新しさを表現する牡丹は、その美しさを洛陽の人々に楽しんでもらっているだけでなく、目に見える経済効果ももたらしている。2021年の第39回牡丹文化節だけで、洛陽に約280億元の観光収入と投資総額が1100億元を超える100件余りの大型投資プロジェクトをもたらした。牡丹によりこの長い歴史を持つ都市の春が光り輝き、活力を増している。そして、牡丹は世界に洛陽を理解してもらうための名刺代わりになっているだけでなく、洛陽が世界に羽ばたくための懸け橋にもなっているのである。孔

人工智能 与中国人的现代生活

人工知能と中国人の現代生活

作者：陌上尘 陌上塵
翻译：山建国 山建国

自1956年夏天麦卡锡在美国达特茅斯学院举行的研讨会上首次提出了“人工智能”以来，历经半个世纪的发展，人工智能时而繁荣时而衰落、起伏不定。但当2016年谷歌公司的AlphaGo机器人大败围棋世界冠军李世石时，整个人工智能市场也像是被引燃了导火线，重新为世人所熟知。近年来，随着大数据资源的积累和深度学习算法的突破，人工智能技术在中国发展迅猛，已经融入人们现代生活的方方面面。

很多人早起第一眼就有看手机的习惯，“刷脸解锁”已经成为最便捷的模式。这类智能生物识别技术，就是通过使用机器学习算法将人脸扫描与人脸扫描中存储的内容进行比较，以确定试图解锁手机的人是否是机主本人，误差率可以低至百万分之一。

出门最常用到的可能是智能导航了。尤其对于都市里的上班族而言，

1956年夏にジョン・マッカーシー氏がダートマス・カレッジで開催されたシンポジウムで初めて「人工知能」を提起して以来、人工知能はその半世紀の過程で時代とともに繁栄と没落を繰り返す不安定な状態であった。しかし、2016年にグーグル社による「AlphaGo（アルファ碁）」が世界チャンピオン棋士の李世石氏を敗り、導火線に火が付いたような勢いで人工知能の市場全体が世の人々に広く再認識された。そして近年では、ビッグデータ資源の蓄積や深層学習アルゴリズムの目覚ましい発展が進むにつれて、人工知能の中国における発展は凄まじく、すでに人間の現代的な生活の様々な場面に導入されている。

多くの人々は起床後まずスマートフォンをチェックする習慣があるが、その際に「顔認証によるロック解除」はすでに最も便利な方法となっている。このスマート生体認証の技術は、ロック解除を試みる人間がユーザー本人であるかを判断するために、機械学習アルゴリズムを通じてカメラに写る顔情報を過去のスキャン時に保存された特徴を比較する。そして、この技術は照合による誤差をわずか100万

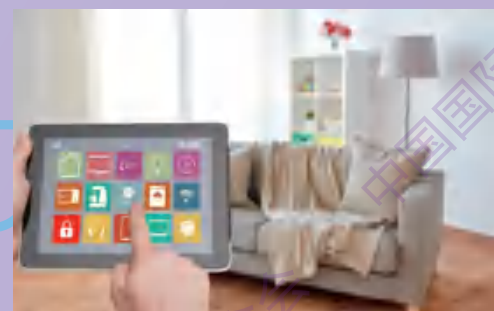


最怕的就是“堵车”，一张智能化且能实时显示交通状况的导航地图日益成为出行的必备工具。

作为新一代人工智能技术加持的导航地图，不仅能随时语音交互，规划合理的出行路线，还能提供智能停车等一系列创新功能。尤其是新冠肺炎疫情最严重的时期，核酸检测和发热就医成为人们的日常，这时就需要智能导航大显身手。比如百度地图就适时上线了“发热门诊地图”“疫情小区”“核酸检测点”等专题地图，为人们提供更智能、更便捷的功能服务和决策参考。

平时工作之余，喜欢上网购物或者逛论坛的人们，会觉得有些平台上的购物或者媒体推荐越来越好，简直就跟自己肚子里的“蛔虫”一样，精准了解自己的喜好。这要感谢人工智能和机器学习，这些平台根据以往的浏览记录了解了你已经看到和喜欢的内容，然后通过人工智能从您提供的数据库中学习，将其与成千上万的媒体进行比较和对比，使用自己的数据库为您提供最适合您需要的内容。

更让人们感到便捷的莫过于智能家居。下班路上，要是觉得热了，可以通过手机智能APP远程打开空调，把房间温度调节到自己最舒服的溫度。还可以通过智能



分の1にまで低くすることが可能である。

外出時に最も頻繁に利用するのがスマートナビだろう。都市部で働くサラリーマンにとって最も恐れるのがまさに「交通渋滞」だが、スマート化で、交通情報をリアルタイムで表示してくれるナビマップは外出時にますます欠かせなくなっている。現在、次世代人工知能技術を用いたナビマップは、音声による対話や最適経路の検討がいつでも可能なだけでなく、スマートパーキングなど一連の革新的な機能を兼ね備えている。とくに新型コロナウイルス感染症が最も深刻な時期にはPCR検査や発熱外来が日常シーンとなり、この

スマートナビが大活躍した。例えば、百度地図は「発熱外来マップ」「感染区域」「PCR検査所」などの個別情報マップをタイミングよく提供を開始し、よりスマートかつ便利な機能、サービス、そして意思決定の参考になる情報を提供した。

余暇の時間にネットショッピングやネット掲示板の閲覧が好きな人々は、一部のプラットフォームでネットショッピングや記事のおすすめがより正確になり、まさに「腹の虫」のごとく自分の好みを正確に理解していると感じるだろう。これはひとえに人工知能と機械学習によるものである。まず、これらのプラットフォームは過去の閲覧履歴に基づき閲覧済みや好みのコンテンツを理解し、人工知能を通じてこれらのデータを分析し、膨大なコンテンツと比較し、最終的にオリジナルのデータベースから最適なものを表示するという仕組みである。

さらに便利さを実感する点では、スマートハウスに勝るものはない。仕事帰りに暑く感じたらスマートフォンアプリが遠隔でエアコンを起動させて部屋を自分に最適な温度に調節したり、スマート冷蔵庫が家で足りない食材を教えるおかげで夕食の食材を適宜買い足したりすることができ、そして食後ソファで休む時に窓の外がまぶしいと感じたら音声コントロールでカーテンを自動で開閉することができる。

人工知能は個人に利便性をもたらす以外に

冰箱，发现家里缺少的食材，及时补充晚餐的物资。

吃完饭躺在沙发上，如果你觉得窗外太亮影响你休息，还可以直接声控让窗帘自动关上。

除了方便个人，人工智能技术还能重要的国际赛事提供完美的服务。在不久前结束的北京冬奥会上，语音转换和翻译机器人“大显神通”。

各国运动员们可以和人工智能机器人用自己的母语尽情交流。还有 AI 手语主播，让听力障碍人士也能获取赛事讯息，更好地参与到比赛中去。最值得称道的恐怕是智慧餐厅里的“做饭机器人”，让来自世界各地的朋友们大开眼界。智能机器人就像中西融合的大厨，不仅能做中餐的麻辣烫、

宫保鸡丁、煲仔饭，还能做西餐的汉堡、意面，可以说只有你想不到的，没有这些机器人做不到的。不信？您点一杯鸡尾酒，就会有“调酒机器人”很熟练地通过机器臂完成摇酒、调酒，一会儿时间就把调好的鸡尾酒送到您面前。

在人工智能的这些应用中，或许更能颠覆人们认知的是其在艺术领域的发展。比如绘画，过去数年中微软发布的智能 AI 小冰，不仅能够按照标准的学习方法研习了 200 多位著名画家的代表作品，还顺利通过了考试，成为中央美术学院第

一、重要的国际大会でも完璧なサービスを提供している。先日閉会した北京冬季五輪では、音声変換や翻訳ロボットが大いに活躍した。各国のアスリートたちは人工知能が搭載されたロボットと自分の母語で思う存分交流することができ、また AI 手話アナウンサーの登場で聴覚障がい者でも競技情報を得て、よりスムーズに試合に臨むことができた。そして、恐らくここで最も賞賛すべきなのはスマートレストランにいる「調理ロボット」だろう。これが世界各国の友人たちの見識を大いに広げた。スマートロボットは中洋が融合したシェフのようで、中国料理の麻辣湯、宮保鶏丁、そして土鍋飯だけでなく、洋食のハンバーガーやパスタを作ること



もはや作れないものなどないと言える。もし信じられなければカクテルを注文してみてください。バーテンダーロボットがアームを駆使して、熟練の手

つきでお酒をシェイクして、あなたの目の前に出来上がったカクテルを提供するだろう。

これらの人工知能の導入事例の中で人々の認識を大きく覆すことができるのは、恐らく芸術分野における発展だろう。例えば絵画では、過去数年にマイクロソフト社がリリースした人工知能「小冰（シャオアイス）」は、標準的な学習方法に基づき200名を超える著名な画家の代表作を研究学習して試験を難なく突破し、中央美術学院で最初の特設「修士課程卒業生」になったのである。そして、「小冰」の作品が2019年度の修士課程在籍の学生による作品展でお披露目された際には、人々の度肝を抜いたのである。従来は人間のみが足を踏み入れることができたこれらの分野は、今後人工知能の推進のもと



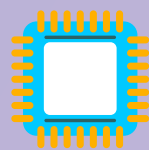
一个特殊的“硕士毕业生”。其创作的作品在2019 届研究生作品展上露面时，引发了人们的惊叹。这些以前只有人类才能涉足的领域，在人工智能的推动下，将会别有一番美丽的天地。

当然，人工智能的快速发展也引起了人们的恐慌。最敏感的是个人数据隐私问题。人工智能的发展对数据有非常高的依赖度，但是我们每个人的数据都是非常私密的信息，这就需要一系列立法工作来为人工智能发展与个人信息安全之间建构合理的边界。有些人也对自身工作充满担忧，生怕在不久的将来，智能机器人可能会取代一些工种，造成他们的失业。

这些担忧让人们人们对人工智能改变生活变得喜忧并存，也迫使我们进一步思考人工智能在未来社会发展中与我们日常生活更多的可能性。尤其是面对老龄化持续加剧的当下社会，还有什么比人工智能居家养老更适合我们深度探索呢？我们甚至可以畅想一下，不远的未来，自动驾驶完全可以把人们从驾驶的位置上解放出来，出行将是多么的简单和便捷！

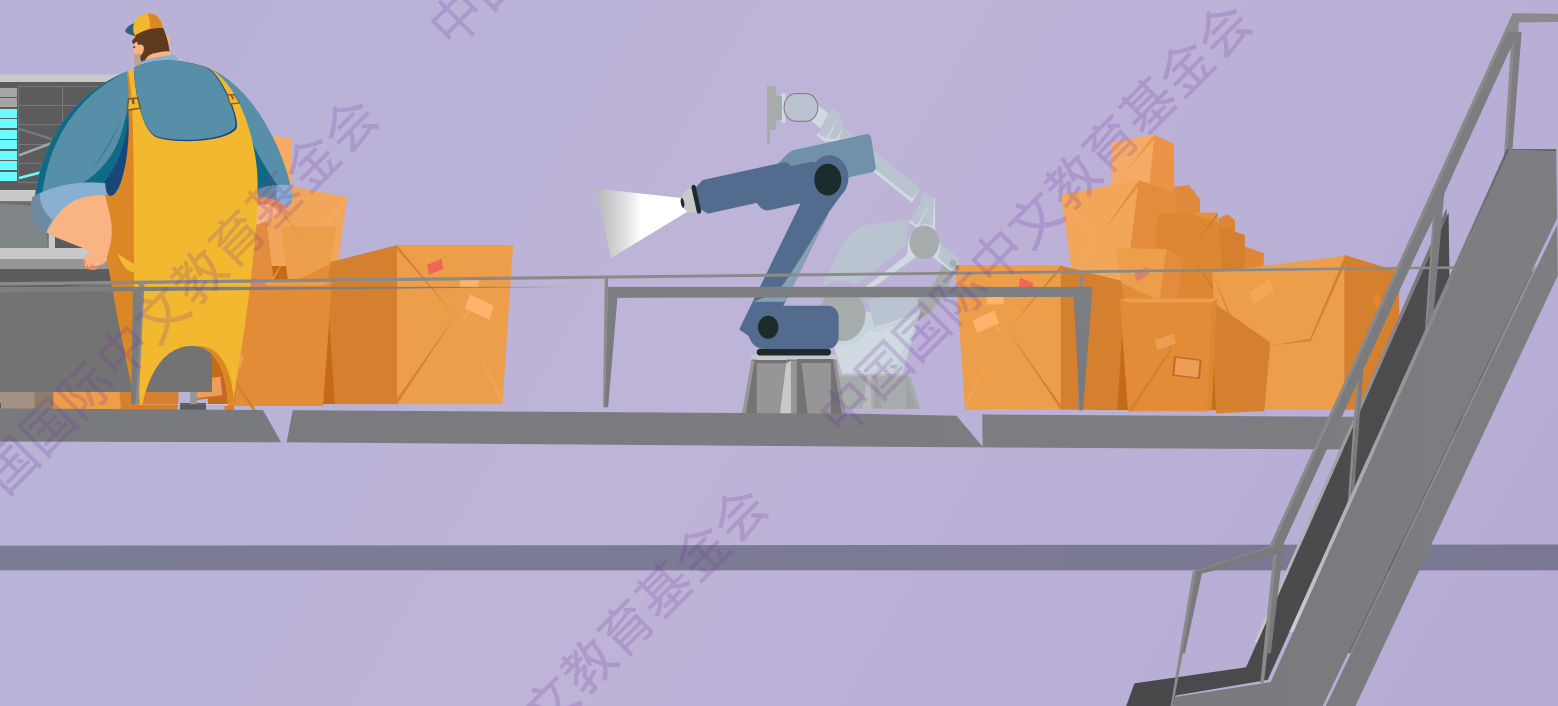
で、新たな美しい境地に到達するだろう。

もちろん、人工知能の急速な発展は、同時に人々の恐怖感を引き起こしている。最も敏感なのが個人データに関わるプライバシーの問題である。人工知能の発展はデータに大きく依存しているが、私たち一人ひとりのデータはいずれも非常にプライバシー性の高い情報である。そこで、一連の立法活動により人工知能の発展と個人情報



の安全性との間に合理的な境界線を引くことが必要である。また、雇用への不安を感じる人々もいる。つまり、近い将来に人間の仕事の中にはスマートロボットに取って代われ、人間の失業を生み出すのではないかと感じているのである。これらの懸念により、人工知能が人間の生活を変えるこ

とに対して、人々の心に喜びと不安の両面が存在しており、同時に未来の社会が発展を遂げる過程で人工知能と人間の日常生活の間にあるより多くの可能性について一歩踏み込んで考えさせている。とりわけ高齢化社会の進行が続く現代社会と向き合い、より深く可能性を探る際に、人工知能を活用した在宅ケアほど適した内容はほかにあるだろうか。そして、近い将来に自動運転が人々を運転から解放すると、外出がどれだけ簡単かつ便利になるか、自由気ままに想像してみようではないか。孔



供图：河南广播电视台全媒体营销策划中心
HBSマーテックセンター

唐宮夜宴

重回大唐盛世繁华

作者：徐娜 徐娜
户明方 户明方
李翔 李翔
翻译：桥本和子 橋本和子



唐宮夜宴

——よみがえる大唐の栄華

去年河南省春节晚会的舞台上，走来了一群活泼可爱、憨态可掬的“唐宫少女”。这群少女身穿“唐三彩”色样的舞衣，手持唐代的各种民族乐器，结伴前往洛阳上阳宫赴宴。赴宴路上，她们时而你推我攘、互相逗趣，时而对着湖面整理妆容，尽显俏皮可爱的小儿女姿态。

嬉笑打闹间，这群唐宫少女走进了《簪花仕女图》《千里江山图》《备骑出行图》等中国古典画卷之中，穿梭在妇好鸮（xiāo）尊、莲鹤方壶、贾湖骨笛等国宝文物之间，舞台瞬间幻化成了一座三维立体的博物馆。

盛宴的钟声敲响了，这群少女立刻收起俏皮，重回端庄，伴着悠扬典雅的乐曲，舞出婀娜韵致，展示着盛世大唐的风采。观众们仿佛跟随这群少女一起穿越到了那个开放、包容、自信的大唐盛世。

短短五分钟的表演，获得了20.4亿的播放量，创造了春晚收视奇迹。其精心设计的红绿襦裙、雍容端庄的盛唐妆容、诙谐幽默的舞蹈风格、尖端酷炫的数字特效，以及可爱讨喜的“唐宫少女”形象，赢得了观众们的集体点赞和超高口碑，更是掀起了一股新的国风热潮。《唐宫夜宴》节目就此火爆出圈，并揭开了中国节日“奇妙游”系列晚会的序幕。

昨年河南省の春節特番「春節晚会」の舞台に、元気いっぱい天真爛漫な「唐宮少女」の一群が登場した。この少女たちは「唐三彩」の色調に染め上げた舞台衣装を身にまとい、唐代のさまざまな民族楽器を手にして、みんなで連れ立って洛陽の上陽宮で催される宴会に赴いているところだ。その道中、彼女たちは互いにちょっかいを出し押し合ったりふざけあったり、時には湖面に向かって化粧を直したりしながら、おしゃれでチャ

ーミングな少女の姿を余すところなく発露している。

おしゃべりに興じふざけあっている間に、唐宮少女の一群は『簪花仕女図』『千里江山図』『備騎出行図』など中国の古典絵巻の中に入り込み、婦好鸮尊（ふこうきょうそん、河南省の殷墟婦好墓から出土した商代の青銅製フクロウ形酒器）、蓮鶴方壺（春秋中期の青銅製の酒器）、賈湖骨笛（河南省賈湖遺跡から出土した7800～9000年前の中国で最初の楽器）など国宝文物の間を行ったり来たりしている。舞台は瞬時にしてトリック3Dアートミュージアムと化した。

盛宴開始の鐘の音が鳴り響くと、少女たちはすぐさまおどけるのをやめ、きりっと整った統制のとれたふるまいに戻り、抑揚に富んだ典雅で美しい楽曲にあわせて、たおやかで風雅な舞を披露し、盛世大唐の姿を再現した。視聴者たちは少女たちと一緒に開放的で包容力のある、自信に満ちた繁栄する大唐時代ヘタムスリップしたかのような気持ちになる。

5分間というほんの短いパフォーマンスは、20.4億回という再生回数を獲得し、春節晚会の視聴の奇跡を起こした。念入りにデザインされた唐代の婦人服である赤と緑の襦裙（じゅくん、短い上着とスカート状の下衣を併せた）、端正で気品に満ちた唐代のメイク、ユーモラスな舞踏スタイル、最先端のハイテクを駆使した見事なデジタル特殊効果、そして可憐で好感の持てる「唐宮少女」のイメージは、視聴者から数多くのSNSの「いいね!」とこの上ない称賛を勝ち取り、さらに新たな国風ブームを巻き起こした。こうして『唐宮夜宴』は人気爆発し、一部のファンだけではなく一般の人々にも知られるようになり、中国の祝日バラエティー番組「奇妙遊」シリーズが始まるきっかけとなった。

传统文化与艺术创造 巧妙融合

《唐宫夜宴》节目中的“唐宫少女”形象，设计灵感源自河南博物院的一组唐代乐舞俑。当节目主创人员在博物馆中看到乐舞俑生动的舞蹈形象后，便开始思考能否通过真人舞蹈的形式让这些乐舞俑“活”起来。于是，静态唐俑被赋予了鲜明的个性特征，变成了娇憨灵动的“唐宫少女”。

为了还原体态丰满、面容丰腴的唐俑形象，同时又能保留舞蹈演员轻灵活泼的舞姿，14名舞蹈演员口含棉花，连体舞衣里也塞满海绵，摇身一变，成为了俏皮可爱的“小胖妞”。此外，舞蹈演员们眼角的两道月牙形妆容，再现了风靡于唐朝的“斜红妆”。“斜红”是流行于唐朝女子中的一种妆容，她们用朱砂、胭脂之类的红色将太阳穴部位涂抹成类似于月牙的形状，从而使女子面部饱满、气色红润。除妆容之外，演员

们所穿的服装样式也颇有讲究。节目组选择了唐朝非常流行的对襟齐胸襦裙，并参考经典的“唐三彩”配色，将黄、绿、白三种颜色巧妙组合，呈现出一种高贵优雅的古典美。

《唐宫夜宴》节目高度还原了唐朝的服饰与妆容之美，让沉寂千年的乐舞俑在舞台上“活”了起来。现代艺术与传统文化的巧妙融合，为传统文化注入了新的生机与活力。



供图：河南广播电视台全媒体营销策划中心
HBSマーケティングセンター



伝統文化と現代アートの絶妙なコラボ

『唐宮夜宴』に登場する「唐宮少女」のイメージは、河南博物院にある一組の唐代の楽舞俑（音楽と踊りに興じている姿の土人形たち）から着想を得ている。演目の制作チームは博物館で楽舞俑が生き生きと踊っている姿を目にした後、実在するリアルな人間のダンスを通して、これらの楽舞俑に「命を与える」ことができないかと考え始めた。かくして、それまで静かにじっとしていた唐俑は目の覚めるような鮮やかな個性を授けられ、無邪気でかわいらしい躍動的な「唐宮少女」へと変身した。

豊満な体形、ふくよかで美しい容貌という唐俑のイメージを再現し、同時に踊り手たちの元気いっぱいでの軽快な舞姿をとどめるため、14名の踊り手たちは口にはコットンを含み、レオタードの下にもぎっしりとスポンジを詰め、体をひと揺すりするやいなや、粹でかわいらしい「ぽっちゃり娘」へと変身した。このほか、踊り手たちの目じりの両側に描かれた2つ

の三日月形のメイクは、唐代を風靡した「斜紅粧」を再現したものだ。「斜紅」は唐王朝の女性の間で流行したメイク法の一つである。辰砂、頬紅の類いの赤色を使って、こめかみに三日月のような形状を描くことによって、女性のふくよかな顔、赤くつやつやした顔色を作り上げている。メイクだけではなく、踊り手たちの衣装についても大いにこだわっている。パフォーマンスチームは、唐代に大流行した「対襟高胸襦裙（前身頃が中央で割れ、スカート部分が長くて胸の上で締めるタイプの襦裙）」を選び出し、代表的な「唐三彩」の配色を参考にして、黄、緑、白の三色を巧みに組合せ、高貴で優雅な古典美を表現した。

『唐宮夜宴』のパフォーマンスは唐王朝の服飾とメイクの美を忠実に再現し、千年の間静寂を保っていた楽舞俑を舞台の上で「蘇らせ」た。現代アートと伝統文化の巧みなコラボによって、伝統文化に新たな生命力と活力が注ぎ込まれた。

传统文化与高科技 精彩碰撞

除了精美的服化道之外，高科技带来的视觉冲击也成为中国节日“奇妙游”系列晚会取得成功的关键。比如，《唐宫夜宴》节目采用舞台和摄影棚双轨录制的方式，最后通过数字技术手段进行合成。虚拟场景和现实舞台相结合的方式制造出了“博物馆奇妙夜”的幻境，唤醒了橱窗中的历史文物，让文物变得可参与、可体验、可互动。

AR技术的使用，打破了传统节日晚会的空间束缚，将舞台时空、盛唐时空与现代时空三者相结合。例如，在“清明奇妙游”晚会中，节目组打造了一个“唐小妹”的二次元形象，她以游客的身份带领观众打卡河南的名胜古迹，从清明上河园，到嵩阳书院，再到中岳庙……并串联起了整场晚会的表演，开创了名胜与表演相结合的新形式。

文物数字化和AR技术满足了大众全方位、多角度、立体化观看文物的需求，让观众沉浸在历史和文化的时空隧道中。由此可见，新技术的更迭可以为传统文化提供丰富多样的展示方式。



伝統文化とハイテク技術のみごとな クロスオーバー

精巧な衣装・メイク・舞台装置以外に、ハイテク技術がもたらしたビジュアルインパクトも中国の祝日バラエティー番組「奇妙遊」シリーズが成功を収めるキーポイントとなった。例えば、『唐宮夜宴』では舞台とスタジオという二本立ての録画方式が採用され、最終的にデジタル技術によって合成された。バーチャルシーンと現実の舞台とをリンクさせるやり方で、「博物館の不思議な夜」という幻の世界を作り出し、静かに展示ケースの中に収まっていた歴史的文化財を呼び覚まし、現実の世界に参加させ、観る人たちをも引き込んで体験させ、互いに影響しあえるものに変えた。

AR技術の活用によって、伝統的な祝日バラエティー番組「晚会」の空間的縛

りは打破され、舞台と盛唐と現代という三つの時空を結びつけた。例えば、バラエティー番組「清明奇妙遊」では、番組制作チームは「唐小妹」という二次元のキャラクターを創り出し、彼女に観光客という身分を与え、視聴者の先頭に立って清明上河園から嵩陽書院、そして中岳廟……など河南の名所旧跡を訪ね歩かせる。同時にまた番組のすべてのパフォーマンスをつなげていくという役割も持たせることで、名所旧跡とパフォーマンスを結びつけるという新たな形を創り出した。

文物のデジタル化とAR技術は、全方位、多角的、立体的に文物を鑑賞したいという一般大衆のニーズを満たし、視聴者を歴史と文化のタイムトンネルに誘い、その中にひたらせてくれた。このことから、最先端技術の出現は、伝統文化に多種多様なアピールの仕方を提供できることがわかる。



供图：河南广播电视台全媒体营销策划中心
HBSレーテックセンター

传统文化与现代生活 完美交汇

中国节日“奇妙游”系列晚会，借鉴“网剧+网综”的现代化叙事模式，通过“唐小妹”这一深受年轻人喜爱的IP形象，向观众展示中国传统节日的魅力。“端午奇妙游”中，“唐小妹”在进宫献艺的路上，体验了赛龙舟、吃粽子、缅怀屈原、饮雄黄酒、艾草祛病等端午习俗；“七夕奇妙游”中，“唐小妹”探寻牛郎织女的足迹，体验人间美好的爱情；“中秋奇妙游”中，“唐小妹”又幻化成唐朝宫廷乐师之女，体会中秋佳节祈盼团圆的相思之情；“重阳奇妙游”中，几位“唐小妹”赶赴重阳夜宴为祖父祝寿，感受孝道文化。传统文化的现代化表达，为节目赋予了崭新的时代温度，也由此提升了观众对于传统文化的兴趣。

此外，这个系列的节目还迎合了当代审美价值取向，获得了年轻受众的青睐。自《唐宫夜宴》火热出圈以来，前往河南博物院、洛阳博物馆等地打卡的游客络绎不绝。河南博物院的参观人数较之前增加了近四成，“唐三彩”展区成为了网友打卡的重点。“唐宫少女”盲盒、摆件等一系列文创产品也风靡全国。与此同时，小红书、抖音等平台上还掀起了一股“汉服热”和“仿妆热”。在汉服界的时尚庆典“天猫国风大赏”中，《唐宫夜宴》联名款汉服也亮相现场。

中国节日“奇妙游”系列晚会通过技术赋能，挖掘传统节日的社会价值和文化内涵。传统文化的美被充分挖掘并赋予当代表达，激起了现代人的情感和文化共鸣，给中老年观众提供了一个回味与鉴赏传统文化的新途径，为年轻观众打开了一个认识并领略传统文化魅力的新窗口，真正做到了老少皆宜、喜闻乐见。







摄影：吕静宜 吕静宜



伝統文化と現代生活 の完璧な一体化

中国の祝日バラエティー番組「奇妙遊」シリーズは、「Webドラマ+バラエティー」という今風の物語方式を借りて、「唐小妹」という若者に大人気のIPキャラクターを通じて、視聴者に中国の伝統的な祝日の魅力をアピールしている。「端午奇妙遊」では、「唐小妹」は芸を披露するために宮中に参内する途中、ドラゴンボートの競漕、ちまきを食べ、屈原を偲び、焼酎に少量の雄黄を入れた解毒酒を飲み、ヨモギで病を取り除くなど、端午の節句の風習を体験する。「七夕奇妙遊」では、「唐小妹」は牽牛と織姫の足跡をたどり、この世の美しい愛情を身をもって知る。また、「中秋奇妙遊」では、「唐小妹」は唐王朝の宮廷楽師の娘に変身して、中秋の一家団欒を願うという思慕の情を抱く。「重陽奇妙遊」では、数名の「唐小妹」が祖父の誕生日を祝うため重陽の夜宴に駆けつけ、孝養の道に思いを致す。伝統文化を現代的に表現することは、番組に斬新な時代の温もりを与え、それによって観る人の伝統文化に対する関心を高めることになる。

このほか、このシリーズ番組は現代の美的価値観のトレンドにもマッチするよう注意を払っており、若い視聴者の支持を得ている。『唐宮夜宴』の人気に火がつき知名度が上がって以

来、河南博物院、洛陽博物館などを訪れる観光客はあとを絶たない。河南博物院の見学者数は以前より4割近く増え、「唐三彩」の展示エリアはネットユーザーの重点人気観光スポットになった。「唐宮少女」のカプセルトイ、飾り物など一連の文化クリエイティブグッズも全国を風靡している。これと同時に、小紅書（RED）、抖音（TikTok）などのSNSプラットフォームでは、「漢服ブーム」や「古代化粧ブーム」も巻き起こった。漢服業界のファッションの祭典「天猫（T-Mall）国風大賞」では、『唐宮夜宴』とコラボした漢服も会場でお披露目された。

中国の祝日バラエティー番組「奇妙遊」シリーズは、ハイテクによって新たな活力を与えられ、伝統的な祝日の社会的価値と文化の内在的要素を掘り起こした。伝統文化の美しさが存分に引き出され、加えて現代的表現が付与されたことにより、現代に生きている人々の感情と伝統文化に対する共感を呼び起こした。中高年の視聴者には伝統文化を追想し鑑賞する新たな手段を提供し、若い視聴者には伝統文化の魅力を認識し理解するための新たな窓口を開き、正真正銘子どもから老人までみんなに歓迎される有益な人気番組ができあがった。 ㊟

一騎的中国大冒険

其三
その3

西游记～新疆维吾尔自治区之旅～

作者/撮影: 宮崎一騎 宮崎一騎

一騎とミドルキングダムの大冒険

西遊記～新疆ウイグル自治区の旅～

从乌鲁木齐飞往喀什的机窗向外看到的景色，和我的想象完全不同，很震撼。（本以为全是沙漠来着……）

ウルムチからカシュガルに向かう飛行機の中から見た景色。想像と違いすぎる光景に衝撃を受けた。（全部砂漠だと思っていた……）

去年九月我从北京出发，先去了内蒙古，之后又到辽宁省的盘锦（那里的“盘锦红海滩”因沿着海岸生长有大片大片红色的植物而闻名）和河北省的承德（那里有著名的清朝离宫“避暑山庄”）旅行。中途由于需要办理下个学期的登记手续，所以在周游两个星期之后我又回到了北京。不过，为了游遍辽阔宏大的中国，不争分夺秒、尽快出发的话，时间肯定是不够的！因此，我只用了两天时间就办完了各种注册手续，和朋友们道别后，再次从北京出发了。

这一次出行，和上次在内蒙古等地的“热身之旅”完全不同，是真正的旅程。因为下一次再回到北京，可能就是四个月之后了。在此期间，我计划走遍中国的西部、中部和南部。（事实上，受到新冠肺炎疫情影响，我至今都没能够再次回到北京，和朋友们是真正地分别了……）

这一次我首先前往的是中国最西端的城市——新疆维吾尔自治区的喀什市。想要高效地游遍中国、不走回头路的话，那里作为起始点是最合适不过的。

从北京坐飞机，需要在新疆维吾尔自治区的乌鲁木齐转机才能到喀什。我暗自庆幸自己这个时候出发正好避开了严冬时节，同时在心理上和服装上也做足了去往“灼热大地”的准备，胸有成竹地登上飞机（笑）。可是，当飞机临近乌鲁木齐的时候，舷窗外的情景却让我满脸愕然。只见群山之上，竟然积着厚厚的一层雪！而且乌鲁木齐和喀什之间绵延险峻宛如虚幻的山脉，在白雪覆盖之下仿佛是如冰河一般的极寒世界。

“呀——！这、这是怎么回事？？”

出发时我可是信心十足地只穿了件短袖衫！这下子我不禁开始惊慌失措起来。

飞机降落在喀什后，我畏畏缩缩地走出机舱。

“冷、死……不了！咦，不冷！（笑）太好了！”

看来虽然新疆到处都是耸立的山脉，喀什这个地方却如同我想象的那样，是个炎热且到处尽是一片褐色的城市。这里最让我感兴趣的则是充满中东风情的街道建筑和它独特的文化。就这样，我意气风发地开始了自己的“西游记”。

到了喀什，我第一个要逛的目标是只有周日才开市的牲口交易市场“牛羊大巴扎”。为什么先去那里呢？因为能亲眼见到当地的市场很有意思，而且最主要的是那里还有许多维吾尔族的美食呀！

昨年9月に北京を出発して内モンゴルを旅した僕は、そのあと遼寧省盤錦（「盤錦紅海灘」という赤い植物が海岸沿いに広がる景色が有名）と河北省承德（「避暑山荘」という清王朝の離宮が有名）を経由して、2週間後にまた北京に戻ってきた。北京の学校で今学期の登録をしなければならなかったからだ。でも、広大すぎる中国全土を制覇するためには一刻も早く旅に出ないと時間が足りなくなる！だから、僕はたった2日で用事を済ませ、友人たちに「お別れ」を告げ、また北京を飛び出した。

今回の旅立ちには、内モンゴルなどを周遊した「ウォーミングアップ」とは全然違う本当の旅立ちだ。次に北京に帰ってくるのは4カ月後で、それまでに中国西部、中部、南部をひたすら走り抜ける計画だ。（実は新型コロナウイルスの影響で北京には二度と戻れなくなり、友人とも本当にお別れになってしまったが……）

僕が北京から飛び立ったのは、中国の西方最果ての地・新疆ウイグル自治区のカシュガル。中国各地を効率的に一筆書きで旅するには最適場所だからだ。

北京からカシュガルへは、新疆ウイグル自治区のウルムチを経由して行く。僕は今なら極寒の冬を避けられて良かったと思う一方、灼熱の大地に向けて心と服の準備をして飛行機に乗り込んだ（笑）。でも、飛行機がウルムチに着く直前、窓の外には驚愕の光景が広がっていた！なんと、見えるのは山の上に積もるたくさんの雪だ！しかもウルムチとカシュガルの間では、まるで別の惑星のような険しい山脈に、雪どころか氷河のような極寒の世界が広がっていた。

「いやいや、どゆこと??」

自信満々に半袖しか着ていなかった僕は焦った。

そしてカシュガルに着くと、僕は恐る恐る外に出た。

「さむ——くない、寒くない！（笑）良かった！」

どうやら新疆には所々に立派な山脈があるようだが、カシュガル自体は想像通りの暑くて茶色い都市だった。そんなことより、僕は中東のような町並みと独特な文化に興味津々！意気揚々と「西遊記」を始めた。

カシュガルで僕がまず向かったのは、週末にだけ開かれる家畜バザール。なぜ？となるかもしれないが、現地のリアルな市場は見ていておもしろいし、なによりウイグル族のおいしい食べ物もいっぱいあるらしい！



可是牲口交易市场并不是观光景点，我能查到的信息有限，也不知道市场的具体位置，只好使出平时不用的大招“坐出租车”了。

“我想去牛羊大巴扎，您知道怎么走吗？”

“嗯……大概知道。”

这个司机没问题吧？我不禁担心起来。可是如果去晚了，市场的好多东西就看不到了，所以最后我还是上了他的车。结果正和我担心的一样，他似乎不知道去的路，走一段路就找路人打听。

“那个牛羊大巴扎怎么走？”（我听不懂他们说的维吾尔语，大概是这个意思吧。）

就这么边走边问，终于来到了目的地。进入大巴扎首先映入眼帘的是各式各样的餐厅和商店，再往前，只见一片尘土飞扬。

“哞——！！”“咩！！咩！！”“咯咯咯。”

这里是进行牛羊家禽大批买卖的地方。家禽牲畜数量之壮观让我瞠目，而进行买卖的人们更是让我印象深刻。大多数是维吾尔族或哈萨克族等有着中亚系面孔的少数民族，正在那里很有气势地进行牲畜买卖的交涉。只见好几个男子围成一圈，中间是手拿重金的买家在和卖家讨价还价。这种场景实在是难得一见，我兴趣盎然地在市场里转来转去，直到中午吃过了饭才离开了这里。

维吾尔族的饭菜真是太好吃了，是我在中国吃过的最好吃的饭菜之一。使用羊肉的米食和面食种类很多，其中添加的香料将辣味和食物的美味调和得恰到好处。在喀什老街区的一角，我发现了一种用西红柿汤底加入羊肉和一些香料做成的极好吃的面，我在喀什期间一共去那里吃了三次，好吃得实在是让人忘不了。真是吃了还想再吃的美食啊！

喀什还有其他如老街区、礼拜寺等充满西域风格、以褐色为基调的建筑和各种几何图案装饰，美不胜收。我游玩于其中，几乎忘记了回去的路。





でも、観光地ではないので情報が少なく、正確な場所もよくわからない。だから、普段ならめったに乗らないタクシーに頼ることにした。

「この家畜バザールに行きたいんだけどわかる？」

「うーん、たぶんわかる」

この人大丈夫？と思ったが、遅れていろいろと見逃すのも嫌だったの
でとにかくタクシーに乗り込んだ。でもダメだ。案の定、彼はあまり場
所がわかっていなかったらしく、ある程度走ると路上の人に道を聞きは
じめた。

「あのバザールってどう行くんだっけ？」（ウイグル語なので全くわ
からないがたぶんこんな感じ）

そんなことを数人に聞いてみると、やっと目的地に到着した。バザ
ールにはまずレストランなどさまざまな店があり、その先で土ぼこりが

舞っているのが見えた！

「モオウー！！」「メェッ！！メェッ！！」「コッ
コッコッ」

大量の牛や羊、ヤギ、鶏などが取り引きされる場
所だ。家畜の多さはとにかくすごかったが、そこに
いた人たちもとても印象的だった。ほとんどの人は
ウイグル族やカザフ族など中央アジア系の顔立ちを
した少数民族で、彼らは迫力ある家畜の売買交渉を
そこら中でしていた。多くの男たちが円をつくり、
その中心で大金を手にした人と家畜の持ち主が話し
合う。かなり珍しい光景がおもしろく、僕はバザ
ールを歩き回った。そして、レストランでご飯を食
べてから町に戻った。

ウイグル族の料理はすごくおいしくて、僕が中
国で一番好きな料理のひとつだ。羊肉を使ったご飯
ものや麺類が多く、スパイスは辛みとうまみのバラ
ンスが絶妙。カシュガル旧市街の一角では、トマト
ベースのスープに羊肉とスパイスを加えた絶品の麺
を見つけ、滞在中に3回も同じものを食べに行っ
てしまった。おいしすぎて忘れられない、また食べに
行きたい料理だ。

カシュガルではその他にも、旧市街やモスクなど
が中東のような茶色ベースの建物と幾何学的な装飾
で美しかったので、僕は迷子になるほど歩き回っ
て楽しんだ。

牛羊大巴扎里正在买
卖牲畜的人们，场面
热火朝天。

家畜バザールで 家畜
の売買をする人たち。
すごい活気だった。

撮影 宮崎一騎 宮崎一騎

但是，我的旅程很长，新疆很辽阔。在告别喀什之后，我坐上夜行列车摇晃了24个小时抵达乌鲁木齐。列车移动距离约有1500公里，途中看到的皆是一片向着远方绵延的干燥大地。

乌鲁木齐虽然是新疆维吾尔自治区的首府，但并没有给我多少旅游城市的印象，我一直以为乌鲁木齐是一座“开发较晚的西部地方城市”。因此，当我抵达乌鲁木齐车站，坐上公交车前往市区时，路边的情景让我惊叹连连。只见在市中心现代化高层建筑鳞次栉比，壮观的高速公路上车水马龙，乌鲁木齐真是一座大城市！这里的购物中心同样陈列着欧美知名品牌商品，而且数量很多。

这个意料之外的发现让我兴奋不已。为了一览城市的全貌，我来到位于市区中心的红山公园。在这里登高远望，我面前是楼层林立的大城市，而城市背后就是雄伟壮丽的山脉。

“这就是那个乌鲁木齐吗……”

展现在我面前的，仿佛是一个我完全不认识的乌鲁木齐。

正当我沉迷于眼前的景色时，一对中国人男女向我打了招呼。

男：“你是日本人吧？？日本人？”

我：“啊！是啊。你怎么知道的？”

男：“哇！真的是日本人呀！！！”

虽然我不怎么明白，但是他一听说我是日本人就特别兴奋（笑）。

男：“我们特别喜欢日本文化！！哇——，小哥哥你好帅呀！”

男生看到我感到兴奋，还夸我“好帅”，这让我感到有种说不出的别扭。不过在这么遥远的新疆也有像他们这样的人，这让我感到挺有趣的。他们好像是当地的高中生，女方穿着类似日本高中女生的水手服。看起来今天是男生当摄影师、女生当模特，一起到这里拍照来了。

在和两个人的谈笑声中，夜幕已经悄然降临。眼前的景色瞬间一变，高耸的建筑群亮起了绚丽的LED灯光秀。我在深圳首次见到相类似的情景时惊讶不已，可没想到在乌鲁木齐同样能够看到如此大规模的灯光秀，实在是令人震撼。

从红山公园高处看到的高层建筑群灯光秀，令我恍若置身于上海或是深圳。实在让人惊叹。

紅山公園の上から見た高層ビル群のライトアップ。上海か深圳に来たのかと思ってしまうほどびっくりした。



でも、旅は長く、新疆は広い。僕はカシュガルに別れを告げると、寝台列車に24時間揺られてウルムチへ移動した。移動距離は約1500キロ、道中は延々と乾燥した大地を眺めていた。

ウルムチは新疆ウイグル自治区の区都だが、観光地としてのイメージはあまりない。それよりも、僕はウルムチを「開発が遅れた西部地域の地方都市」ぐらいにしか想像していなかった。だから、ウルムチ駅に着いて、バスで市内に向かっていくときの僕は驚きっぱなしだった。中心部には近代的な高層ビルが立ち並び、巨大な高速道路には多くの車が行き交うなど、ウルムチは「大都市」だったからだ。ショッピングモールには欧米の有名ブランドショップまで入っていた。しかも、たくさん。

予想外の発見で興奮気味だった僕は、都市の全貌を確認するために町の中心部にある丘・紅山公園に登った。すると、丘の上からは手前にたくさんの建物が並ぶ大都市が、背後には雄大な山脈が見渡せた。

「これがあのウルムチか…」

まさに、僕の全く知らないウルムチがそこにあった。

僕がぼーっと景色に見入っていると、中国人の男女が話しかけてきた。

男)「あなたもしかして日本人??? 日本人でしょ?!」

僕)「あー、そうだよ、よくわかったね。どうしたの?」

男)「うわ!! まじか!! 日本人だ!!!」

よくわからないが、彼は僕が日本人だと聞いて大興奮している(笑)。

男)「僕たち日本の文化が大好きなの!! わあー、お兄さんかっこいい〜」

男に「かっこいい〜」と言われて大興奮されるのはなんとも言えない変な感じだが、はるか遠くの新疆にも彼らみたいな人がいるとわかっておもしろかった。どうやら、彼らは地元の高校生らしく、女の子は日本のセーラー服を着ていた。この日は男がカメラマン、女の子がモデルとして写真撮影に来ていたらしい。

ふたりと談笑していると、しばらくして夜になった。すると、さっきまでの景色が一変、高層ビルでギラギラなLEDライトアップが始まった。似たようなものは深圳で初めて見て驚愕したが、まさかウルムチにもこんな大規模なものがあると思わなかった。なので衝撃的だった。

登山远望, 从这里不仅能够俯瞰天池, 极远处的景色也尽收于眼底。

山の上からは 天池だけではなく、はるか遠くの景色まで見渡せた。

其实，就在乌鲁木齐的郊外坐落着一处载入世界自然遗产的自然景点，那就是位于天山山脉博格达峰山麓中的“天山天池”。这也是我来到乌鲁木齐的主要原因。

天池位于海拔2000米处，路途险峻，乘坐公共汽车走了几个小时才到。不过，那里的景色却是无与伦比的美丽。

白雪覆盖下博格达峰庄严神圣，雪水融汇的天池水碧透清澈，再加上染成红黄间色的红叶。这里的景色和我这几天看到的旷野新疆截然不同，是一个波光粼粼、五光十色的世界。天池景区可以任由游客游玩，所以我不仅沿着湖边散步，还攀登上了海拔3000米以上的高山。从那里看到的景色，仿佛是从《指环王》电影走出来的一样，山峦雄奇挺拔，令我的心情无比舒畅。

次日，我从乌鲁木齐出发，前往中国最热的、“真真正正”的灼热大地。那就是位于新疆东部的吐鲁番。而且，我还要从那片《西游记》中唐三藏曾经走过的土地出发，认真地探寻丝绸之路沿途的城市与遗迹。目标，大唐的都城长安（今天的西安）！！

実は、そんなウルムチの郊外には世界自然遺産にも登録されている美しい自然がある。天山山脈のボゴダ山中腹にある「天山天池」という湖だ。それを見に行くことが、僕がウルムチに来た一番の理由でもあった。

天池は標高約2000メートルの地点にあるので、道はそれなりに陰しく、バスで数時間かけてやっと着いた。そして、そこには絶景が広がっていた。

白く神々しいボゴダ山、雪解け水が青く輝く天池、そして黄色や赤に染まる紅葉。新疆でこれまで見てきた荒野の世界とは全く違うみずみずしく色鮮やかな世界だ。また、天池では思うままに散策できるので、僕は湖の周りだけではなく、標高が3000メートルもある近くの山にも登った。その山から見る景色は、映画『ロード・オブ・ザ・リング』を思わせるほど雄大で最高に気持ち良かった。

次の日、僕はウルムチを出発し、中国一暑い「本当の」灼熱の大地に向かった。新疆の東端に近いトルファンだ。そして、『西遊記』の三蔵法師も歩いたこの地から、本格的にシルクロードの都市と遺跡を巡る。目指すは唐の都・長安（今の西安）！！

作者简介:

宮崎一騎(MIYAZAKI KAZUKI)、日本神奈川県人、毕业于早稻田大学社会科学部。2018年8月开始在北京大学燕京学堂攻读中国学（政治学和国际关系）硕士课程。他曾在中国和美国留学，有参加国际论坛、国际NGO的活动和在联合国机构实习的经历，到目前为止一共去过27个国家和地区背包旅行。现今开设网站“Middle Kingdom Adventure”，希望吸引更多的日本人到访中国，为亚洲的可持续和平贡献微薄之力。

作者紹介:

宮崎一騎（ミヤザキ カズキ）、神奈川県出身。早稲田大学社会科学部卒業。2018年8月から北京大学燕京学堂（Yenching Academy）にて中国学（政治学と国際関係）を専攻。これまでにアメリカと中国での留学と国際シンポジウム、国際NGOや国連でのインターン、27の国と地域へのバックパック旅などを経験。現在はアジアの持続可能な平和に貢献するため、「ミドルキングダム冒険」というプロジェクトで中国を訪れる日本人を増やすための活動をしている。

老当益壮 不移汉语之情

矍鑠たる老人、変わらぬ中国語への思い

ウクライナ・ザポリージャ国立大学孔子課堂外国人学院長のヴォルコフ教授の記



作者: 吴振华 吳振華
翻译: 章胤杰 章胤傑

记乌克兰扎波罗热国立大学
孔子课堂外方院长
沃尔科夫教授

Volkov

弗

拉基米尔·彼得洛维奇·沃尔科夫教授，身材魁梧、高大、健硕，学识渊博，精力充沛，和蔼可亲。看上去，根本不像70多岁的老人。他是乌克兰著名的教育家，曾任扎波罗热国立大学副校长，获得过乌克兰总统签发的教育部功勋奖章。2018年光荣退休后，他欣然接受了学校返聘，担任乌克兰扎波罗热国立大学孔子课堂首任外方院长。虽年逾古稀，他仍积极努力工作，为孔子课堂的建设和发展，殚精竭虑，四处奔波。

走进沃尔科夫院长的办公室，你会感受到一股浓浓的中国文化氛围。桌子上插着中乌两国的国旗，墙上挂着中国山水画、花鸟画，天花板悬挂着来自中国的红灯笼和中国结，柜门上贴着京剧脸谱和各种字体的“龙”字。他的办公桌旁还挂着一块黑板，每天他都坚持练习写汉字，最喜爱写的汉字是“春”字。沃尔科夫院长一见到客人，就会向他们展示他的书法，并认真地书写一个大大的“春”字，向客人推介奇妙的汉字书法艺术，夸耀中国的大美山川和文化历史遗迹。

扎波罗热国立大学孔子课堂自创建以来，沃尔科夫院长就利用他广博的人脉，不断拓展孔子课堂的教学空间。

扎波罗热有尚武之风，他主动与该市武协联系，谋求设立孔子课堂，最后签署了合作协议，并将课堂设计为“汉语+武术”的模式，一边教武术套路、太极拳，一边利用武协教学点教授汉语知识，传播中华文化。该市图书馆有一个读者协会，

沃尔科夫院长就跟图书馆联系，在读者协会开设汉语学习班，将孔子课堂拓展到广大市民中间。在扎波罗热国立大学体育系，他创建了运动康复专业，请孔子课堂专职体育教师为全校学生免费开设太极拳课程。一时间，“学习太极，强身健体”风靡全校。扎波罗热州有一个能源城，那里有很多中乌合资企业，当地人对学习汉语有强烈的需求，沃尔科夫院长就在那里建立了汉语教学点，吸引了数百人学习汉语。又是在他与多方的努力下，扎波罗热市郊区巴拉宾斯克的学校将汉语作为重要的第三外语和学分课程，汉语正式进入从幼儿园至十一年级的学习课堂……

沃尔科夫院长，虽已年逾古稀，依然精力充沛，精神矍铄，在为汉语和中华文化的传播，事必躬亲，竭尽全力；为孔院的发展和建设，默默耕耘，默默奉献。

ウ

ラジミール・ペトロヴィッチ・ヴォルコフ教授は、がっしりした体格で、学識と精力にも満ちており、親切でフレンドリーな人である。その姿は、70代の人には全く見えない。彼は、ウクライナの著名な教育者であり、かつてザポリージャ国立大学の副学長を務め、ウクライナ大統領発行の教育功労賞を受賞したことさえある。2018年の退職後、彼は喜んでザポリージャ国立大学に戻り、ザポリージャ国立大学孔子课堂の初代外国人学院院长になった。ご高齢にもかかわらず、彼は孔子课堂の発展のために精力的に働いている。

ヴォルコフ学院長のオフィスに入ると、中国文化の雰囲気をしみじみと感ずることができる。机の上には中国とウクライナの国旗、壁には中国の山水画や花鳥画があり、天井からは中国の赤いランタンや中国結びが掛けられ、キャビネットの扉には京劇の顔や様々なフォントの「龍」の字が描かれている。また、机の横には黒板があり、彼は毎日そこで漢字を書く練習をしている。一番のお気に入りには、「春」の字だ。ヴォルコフ学院長は、客人に会うたびに書道を披露し、「春」という漢字を大きく丁寧に書き、中国の書道の素晴らしさを紹介し、中国の美しい景色や文化・歴史的遺跡を絶賛する。

ザポリージャ国立大学孔子課堂設立以来、ヴォルコフ学院長

は幅広い人脈を駆使し、孔子課堂の教育内容を充実させてきた。

ザポリージャは武道が有名であるため、彼は積極的に市の武道協会と連絡を取り、孔子課堂設立のために奔走した。最終的には協力協定を結ぶことができ、孔子課堂を「中国語＋武術」のかたちにし、武術や太極拳を教えながら、武道協会の教室を利用して中国語を教え、中国文化を広めている。同市の図書館には読者協会があり、ヴォルコフ学院長は図書館とも連絡をとって読者協会で中国語教室を開き、孔子課堂を一般市民にも広げた。そして、彼はザポリージャ国立大学体育学部にはスポーツリハビリテーションコースを設置し、孔子課堂の専任体育教師に依頼して、すべての学生に太極拳クラスを無料で提供した。一時は「太極拳を習って体を鍛える」ことが大学で流行した。さらに、ザポリージャ州にはエネルギータウンがあり、そこは中国とウクライナの合併企業が多く、中国語学習に対する現地の人々の需要も高い。ヴォルコフ学院長はそこに中国語教育の拠点をつくり、何百人もの人が中国語を学びに来ていた。また彼の尽力のおかげで、ザポリージャ郊外のパラビンスクの学校は、中国語を重要な第三外国語とし単位科目として、幼稚園から11年生までの授業に正式に導入した。

ヴォルコフ学院長はご高齢にもかかわらず、依然として矍鑠としており、中国語と中国文化の普及に全力を尽くし、孔子学院の建設と発展に身をささげている。孔



孔子学院

异域来风

孔子学院による異国での活動

翻译：山田平 山田平

中克同舟，端午竞渡

中国とクロアチアが同舟し、ドラゴンボートフェスティバルで競う

当地时间2022年6月4日，克罗地亚萨格勒布大学孔子学院（以下简称“萨大孔院”）第七届龙舟赛在美丽的雅伦湖（Jarun）成功举行。萨格勒布市政府体育运动负责人、中国驻克罗地亚大使馆负责人、孔院师生和当地各界人士300余人参加了这次活动。新华社、克罗地亚国家广播电视台HRT和Mreša电视台等多家媒体进行了采访和报道。

現地時間2022年6月4日、クロアチアのザグレブ大学孔子学院（以下、ザ大孔院）は、第7回ドラゴンボートフェスティバルを美しいヤルン湖で成功裏に開催した。当日はザグレブ市のスポーツ部門や中国駐クロアチア大使館の責任者、孔子学院の教師と学生、現地の各界の名士300人余りが参加した。また、新華社通信、クロアチアの国营放送局であるHRTやMreša TVなど多くのメディアが取材し報道した。





萨大孔院外方院长克莱什米尔·尤拉克（Krešimir Jurak）盛赞道：端午赛龙舟很精彩！这些龙舟有龙头，有龙尾，而龙身就是由人组成，活灵活现，栩栩如生。十三支参赛队伍在湖面劈波斩浪，激烈角逐，精彩纷呈。萨格勒布市政府体育运动负责人雷娜塔·弗拉伊哈尔（Renata Flajhar）、萨大孔院中方院长杨海燕等分别为冠、亚、季军获奖队伍颁奖并合影留念。

ザ大孔院の現地側院長であるクレシミール・ユラク氏は「ドラゴンボートフェスティバルは非常に素晴らしかった。ドラゴンボートには頭や尾があり、胴体に相当する部分は漕ぎ手で構成され、生き生きとしていた。13チームは湖の上で波を切り裂き、しのぎを削って、輝きを放っていた」と称賛した。最後に、ザグレブ市のスポーツ部門の責任者であるレナタ・フラジャ氏、ザ大孔院中国側院長の楊海燕氏らが優勝、準優勝、3位のチームを表彰し、記念撮影した。

萨大孔院一年一度的赛龙舟活动，不仅传播了团结、拼搏、勇往直前的龙舟精神，也在竞赛中加深了中克两国人民的友谊，激发了克罗地亚人学习中文、学习中华文化、深入了解中国的热情。（杨海燕供稿）

ザ大孔院が開催する年に1度のドラゴンボートフェスティバルは団結、努力、そして果敢に進化するドラゴンボートの精神を伝えただけでなく、競技の中で中国とクロアチア両国の人々の友情を深め、クロアチアの人々の中国語や中国の伝統文化の学習、中国に対する深い理解への意欲をかき立てた。（楊海燕寄稿）

助力当地高中，共促中韩文化交流

現地の高校を後押しし、中韓の文化交流を共同で促進



当地时间2022年3月28日，韩国济州汉拿大学孔子学院（以下简称“汉大孔院”）与济州女子商务高中签署合作协议，助力女子商务高中的学生更好地学习中文和中国文化。

現地時間2022年3月28日、韓国済州漢拏大学孔子学院(以下、漢大孔院)と済州女子商務高校は協力協議書に調印し、女子商務高校に通う生徒が中国語や中国文化をよりよく学べるよう後押しした。

4月27日下午，汉大孔院在女子商务高中举办了以“国风扇影、扇行天下”为主题的扇文化体验活动，通过赏扇、谈扇、制扇等环节让学生切身体验中国传统扇文化的艺术美感和深厚内涵。此外，孔院教师还介绍了济州汉拿大学-南开大学“2+2”本科双学位项目，鼓励同学们通过该项目培养国际化视野和跨文化交流与合作能力，增强理论水平和实践技能。

4月27日午後、漢大孔院は女子商務高校で「国風扇影、扇

行天下」をテーマとした扇子文化の体験イベントを開催した。生徒たちは実際に扇子を鑑賞し、語り、製作するなどのセッションにより、中国伝統の扇子文化の芸術的美しさや内に秘められた奥深さを体験した。このほか、孔子学院の教師は済州漢拏大学と南開大学による「2+2」の本科ダブルディグリープログラムを紹介し、生徒たちにこれを通じて国際的な視野、異文化交流、力を合わせる能力を養い、理論の水準と実用的な技能を強化するよう激励した。

汉大孔院以实际行动支持女子商务高中的中文教学和中国文化体验活动，助力高中培养各领域的应用型、复合型人才。（王杉、梁一波供稿）

漢大孔院は実際の行動で女子商務高校の中国語教育と中国文化の体験活動を支援し、各分野の応用力があり、多彩な能力を持つ人材の高校での育成を後押しした。（王杉、梁一波寄稿）

参与并承办“国际中文教育先锋教师培养计划”工作坊

「国際中国語教育先進教師育成計画」 ワークショップへの参加と運営

当地时间2022年5月14—29日，泰国朱拉隆功大学孔子学院（以下简称“朱大孔院”）积极参与“2022年度北京大学孔子学院国际中文教育先锋教师培养计划”工作坊。朱大孔院高级顾问傅增有教授、中方院长韩圣龙博士以及孔院9位中泰教师以多种方式参与其中。

現地時間2022年5月14日から29日までの期間、タイのチュラロンコン大学孔子学院（以下、チュ大孔院）は「2022年度北京大学孔子学院国際中国語教育先進教師育成計画」ワークショップに積極的に参加した。チュ大孔院高級顧問の傅増有教授、中国側院長の韓聖龍博士、そして中国人とタイ人の教師9人がさまざまな方法で参加した。

朱大孔院承办了其中两场工作坊。在“语言要素教学与教学策略”工作坊中，国际中文教师王丹和张彩云取材真实课堂，分享了语音和词汇教学的实用技巧及教学思考；在“论中外年轻人的生活”工作坊中，本土中文教师苏明慧、国际中文教师志愿者赵执、任钰婷三位老师通过大量的数据，展示并对比了中泰两国年轻人的生活差异，分析了中国文化对泰国年轻人生活的影响。

チュ大孔院はこの活動の中で2回のワークショップを開催した。「言語要素教育と教育戦略」というワークショップでは、国際中国語の教師である王丹氏と張彩雲氏が授業の現場での実践経験を踏まえて、発音と語彙に関する実用的な技術と教育の考え方を紹介した。「中国と外国の若者の生活を論ずる」というワークショップでは、現地の中国語教師の蘇明慧氏、国際中国語教師でボランティアの趙執氏、任钰婷氏の3人が大量のデータから中国とタイの若者の生活における違いを示して比較し、中国の文化がタイの若者の生活に与えた影響を分析した。

此外，朱大孔院的中文教师们还参与了“课堂管理与组织活动”“文化活动与文化教学”“跨文化交际”等工作坊并担任主讲，主讲内容丰富实用，收获不少好评。（朱拉隆功大学孔院供稿）

このほかチュ大孔院の教師たちは、「授業の管理と組織活動」「文化活動と文化教育」「異文化交流」などのワークショップで講師を務め、その内容は豊富かつ実用的で好評を博した。（チュラロンコン大学孔子学院寄稿）



“熊猫日”里，体验中国文化

「パンダの日」に中国文化を体験

当地时间2022年5月29日，匈牙利赛格德大学孔子学院（以下简称“赛格德孔院”）在当地动物园举办了“熊猫日”中国文化体验活动，为当地的儿童节增添了一抹“中国色彩”。

現地時間2022年5月29日、ハンガリーのセグド大学孔子学院（以下、セグド孔院）は現地の動物園で「パンダの日」中国文化体験イベントを開催し、現地のこどもの日に「中国の彩り」を添えた。

在孔院中外方院长罗平、李察德的带领下，孔院教师和工作人员在园区内精心布置了充满熊猫元素的“中国风”展台，吸引了大批儿童和家长前来参观。小朋友们积极参与各个区域的活动，兴趣盎然。家长们纷纷表示，“熊猫日”活动不仅锻炼了孩子们的动手能力，还增长了孩子们对中国文化的了解，期待日后能多参加孔院举办的这类文化活动。

孔子学院中国側院長の羅平氏と現地側院長の李察德氏が旗振り役となり、孔子学院の教職員が心を込めてパンダをモチーフにした「中国風」展示ブースを園内に設置して、多くの親子連れ

の目を引いた。子どもたちは積極的に各エリアのイベントに参加し、興味津々であった。保護者たちは口々に「パンダの日のイベントは子どもたちの行動力を鍛えただけでなく、中国の文化に対する理解を増進した。今後、孔子学院が開催するこうした文化イベントに数多く参加できることを楽しみにしている」と話した。

赛格德孔院在扎实推进中文教学的同时，每年都会举办类似“熊猫日”的中国文化体验活动，帮助当地民众了解中国、了解中国文化，播撒中匈两国人民友谊的种子。（匈牙利赛格德大学孔院供稿）

セグド孔院は中国語学習を確実に推進すると同時に、毎年「パンダの日」のような中国文化体験イベントを開催することで、現地の人々が中国と中国文化を理解し、中国、ハンガリー両国の人々の友情の種をまくことに一役買っている。（ハンガリーセグド大学孔子学院寄稿）



孔院搭台，农业唱戏

孔子学院が舞台を作り、農業が芝居を演じる

特立尼达和多巴哥共和国西印度大学圣奥古斯丁分校孔子学院（以下简称“特多孔院”），作为加勒比海地区第二家、特多唯一的孔子学院，自2013年成立以来，已逐渐发展成为一家具有农业特色的孔子学院。

トリニダード・トバゴ共和国西インド諸島大学セント・オーガスティン校孔子学院（以下、トリニダード・トバゴ孔院）はカリブ海地域で2番目、トリニダード・トバゴで唯一の孔子学院として2013年に設立されて以降、徐々に農業を特色とする孔子学院へと発展していった。

特多孔院与中方合作院校中国农业大学展开深度合作，以“孔院搭台，农业唱戏”为理念，签署了“共建中特农业创新园”这一国家级农业科技示范项目。创新园不仅涵盖了教育、科研、示范推广等功能，更致力于创新加勒比海地区的农业发展模式。此外，为了创新园的可持续发展，中国农业大学设立专项奖学金，支持特多在内的加勒比海地区学生前来攻读农学、园艺等硕士和博士学位。

トリニダード・トバゴ孔院と中国側の協力校である中国農業大学は高度な協力を展開し、「孔子学院が舞台を作り、農業が芝居を演じる」を理念として、「中国トリニダード・トバゴ農業イノベーション園の共同建設」という国家級農業科学技術モデルプロジェクトに調印した。このイノベーション園は教育、科学



研究、モデル事例の普及などの機能を備えているだけでなく、カリブ海地域の農業の発展モデルを生み出すことに注力している。このほか、イノベーション園の持続可能な発展に向けて、トリニダード・トバゴを含むカリブ海地域の学生が農業や園芸などの修士号や博士号を取得できるよう、中国農業大学が専門の奨学金を設けた。

该项目不仅增强了西印度大学圣奥古斯丁分校和中国农业大学的合作，更助推了两国的农业教育和科技交流合作，扩大了中国和加勒比海地区的人文交流。（张志超供稿）

このプロジェクトは西インド諸島大学セント・オーガスティン校と中国農業大学の協力を強化するだけでなく、両国の農業教育と科学技術の交流と協力をさらに推進するもので、中国とカリブ海地域の人的・文化の交流を拡大している。（張志超寄稿）



俄罗斯莫斯科国立语言大学孔子学院在 疫情期间的坚守与奋进

ロシアモスクワ国立言語大学孔子学院のコロナ 禍の期間における堅守と奮進



自全球新冠疫情爆发以来，莫斯科国立语言大学孔子学院（以下简称“莫语大孔院”）坚守初心，不忘使命，克服种种困难，不断拓展业务空间。

新型コロナウイルスの感染が世界で急拡大して以降、ロシアモスクワ国立言語大学孔子学院（以下、モスクワ言語大孔院）は初心を守り、使命を忘れず、さまざまな困難を克服し、業務の幅を絶えず拡大した。

以中文教育为基点。疫情期间，莫语大孔院坚持开展了俄罗斯本土中文教师培训，举办了“最佳本土中文教师”教学技能大赛，注重提升教学质量，并为中文教师提供教学展示、经验交流的平台。

まず、中国語教育を基点としている。コロナ禍の期間、モスクワ言語大孔院は現地の中国語教師の育成を堅持し、「最優秀現地中国語教師」の教育技能コンテストを開催して、教育の質の



向上を重視し、中国語教師に教え方を示し、経験の交流の場を提供した。

以中文考试为亮点。2020年至今，莫语大孔院在组织汉语水平考试（HSK）方面取得显著成就，形成了“以教促考、以考促学”的办学特色，先后5次被汉考国际授予“汉语水平考试优秀考点”称号，现已成为欧洲最大的HSK考试考点。

次に中国語試験の開催に尽力している。2020年から現在までモスクワ言語大孔院はHSK（中国の教育部が認定する国際的な中国語検定試験）の試験開催で著しい成果を挙げた。「教えることで受験を促し、受験により学びを促す」という学校運営の特徴を形成し、5度にわたって漢考国際（中国教育部の下部組

織）から「HSK優秀試験会場」の称号を授与され、今ではヨーロッパ最大のHSK試験会場となった。

以文化交流为特点。莫语大孔院连续三年承办“汉语桥”世界大学生、中学生中文比赛俄罗斯赛区决赛，并荣获“汉语桥优秀组织奖”。此外，孔院还积极参与中俄人文交流，例如组织中俄学生俄汉互译工作；参与北京外国语大学首届线上跨国音乐会；为中资企业员工提供语言服务，为中文学习者提供实习及就业机会等。（牟璇供稿）

最後に文化交流を特徴としている。モスクワ言語大孔院は3年連続で「漢語橋」世界大学生・中高生中国語コンテストのロシアラウンド決勝を開催し、「漢語橋優秀組織賞」を受賞した。このほか、孔子学院は中国とロシアの人的・文化の交流を積極的に進めている。例えば、中国とロシアの学生による相互翻訳業務の組織、北京外国語大学の第1回オンライン越境音楽会への参加、中国企業の社員に対する言語サービスの提供、中国語学習者へのインターンシップや就業の機会提供などである。（牟璿寄稿）



《孔子学院》征稿函

《孔子学院》由中国国际中文教育基金会主办、上海外国语大学协办，是拥有标准国际连续出版物刊号（ISSN）和中国国内统一刊号（CN）面向全球发行的出版物。该刊为双月刊，有中英、中法、中西、中俄、中德、中意、中葡、中阿、中泰、中韩、中日 11 个中外文对照版。

现需征稿，主题如下：

1. 国际中文教育，如教学、研究、考试；
2. 孔院故事，以个人视角讲述孔子学院故事，尤其欢迎在特色孔子学院、示范孔子学院、孔子学院联盟中发生的故事；
3. 中华文化、跨文化交流、当代中国社会生活。

投稿须知：

1. 文稿完整，包括题目、正文、署名和作者简介。
2. 字数为 800-3000 字，中文、外文、中外文对照皆可。欢迎提供配图，请附图片说明，不低于 3MB，以附件形式发送。
3. 咨询、投稿邮箱：ci_journal@ci.cn。编辑部将在收稿 10 个工作日内，回复作者并确认收稿信息。

免责声明：投稿稿件要求原创、首发，稿件中不得含有任何违法内容，不得侵犯他人名誉权、隐私权、商业秘密等合法权益，否则引发的法律责任由投稿人承担。一经投稿，即视为作者将作品多语种的修改权、复制权、汇编权、翻译权、信息网络传播权及电子数码产品版权等著作权（署名权、保护作品完整权除外）在全球范围内转让给《孔子学院》编辑部。

《孔子学院》编辑部

『孔子学院』文章募集について

『孔子学院』は、中国国際中文教育基金会在主催し、上海外国語大学が協賛する、ISSN（国際標準逐次刊行物番号）と CN（中国国内統一発行番号）を持つ公式出版物として、全世界に刊行されるものである。本誌は隔月刊で、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、アラビア語、タイ語、韓国語、日本語、計 11 パージョンの中国語対照版がある。

文章を公開募集しており、テーマは以下の通りである。

- 1、国際的中国語教育（例：教育、研究、試験など）。
- 2、孔子学院にまつわる話。個人の視点で語る孔子学院のことを含めて、特に特色孔子学院、示范孔子学院、孔子学院連盟の中で起こったことの投稿を歓迎する。
- 3、中国文化、異文化コミュニケーション、現代中国の社会生活にまつわる話。

募集要項：

- 1、文章原稿は、タイトル、署名、本文、著者の経歴などを含むこと。
- 2、文章は 800 ～ 3000 語で、中国語、外国語、両国語対照のいずれかで作成すること。写真がある場合、名前や簡単な説明を付け、それぞれ 3MB 以上のサイズで論文ファイルに添付すること。
- 3、お問い合わせ・ご応募先：ci_journal@ci.cn。原稿は、編集部が受領してから 10 営業日以内に、受領確認の返信をする。

免責事項：投稿はオリジナルで初公開のものに限る。また、違法な内容を含んでいたり、他人の名誉権、プライバシー、商業秘密などの法的権利や利益を侵害していたりしてはならない。さもなければ、それらに起因する法的責任は投稿者が負うことになる。原稿が提出された時点で、著者は『孔子学院』編集委員会に、修正、複製、編集、翻訳、ネットワーク上での普及、電子デジタル製品の著作権（氏名表示権と作品の完全性を保護する権利を除く）を含む、複数言語による作品の著作権を譲渡したものとみなされる。

『孔子学院』編集部

孔子学院

ci.cn

孔院人的云上家园



CONFUCIUS INSTITUTE

孔子学院全球门户网站（ci.cn）以服务全球孔院学员、教师为出发点，设有“中文课堂”“学术天地”“文化视窗”“活动空间”“合作伙伴”等重点栏目。同时，网站还将为所有孔院配套设置具备信息展示、资源获取、课程管理、对外联络等功能的独立子站，推动各孔院线上线下融合发展，更好实现数字化转型，实现全球孔院互联互通！



ci.cn

即刻登陆 ci.cn，体验不一样的云端孔子学院！

RMB 16/ JPY 550

158N 1674-9693

